

令和元年度
(2019年度)

事業報告書

社会福祉法人
稲城市社会福祉協議会

令和元年度事業報告書目次

1 令和元年度事業総括	1	(2) 寄付金	15
□コミュニティ・ソーシャル・ワーク	1	(3) 会員募集に関わる説明会等	16
(CSW)機能の確立		5 広報活動	16
□組織体制の強化	1	6 福祉事業	16
□役員改選について	2	(1) 高齢者等福祉事業	16
□災害に備えた取り組み	2	寝たきり高齢者等紙おむつ支給事業	16
□福祉サービス第三者評価の受審他	3	(2) ひとり親・児童福祉事業	16
□多摩プロゴルフ会からの寄付	3	ひとり親家庭カウンセリング相談事業	16
2 重点事業の進捗状況	4	(3) 障害者福祉事業	17
(1) モデル地区における「コミュニティ・ソ	4	ア ハートフルステージ	17
シャルワーク」機能の確立に向けた継続実施		イ あおぞらスポーツ	17
(2) 会員拡充	4	ウ 障害者社会参加促進事業	17
(3) ふれあいセンター事業の推進	4	エ 手話通訳者養成事業	17
(4) 地域の「居場所(交流の場)」の支援	5	(4) 相談事業	17
(5) 「ひきこもり」の状態にある方への支援	5	ア 心配ごと相談	17
(6) 新たな商品の開発	5	イ 介護サービス相談員派遣事業	18
(7) 「地域における公益的な取り組み」の実施	6	(5) 福祉有償運送事業(ハンディキャップ事業)	18
(8) 稲城市社会福祉協議会連絡協議会」の	6	7 援護事業	18
取り組みの充実		(1) 応急援護・貸付事業	18
3 組織運営	7	ア 緊急援護費	18
(1) 役員等の状況	7	イ たすけあい資金	19
(2) 三役会	7	(2) 生活福祉資金貸付事業	19
(3) 理事会	7	ア 生活福祉資金貸付事業	19
(4) 評議員会	9	イ 総合支援資金貸付事業	19
(5) 評議員選任・解任委員会	11	ウ 受験生チャレンジ支援貸付事業	19
(6) 監査	11	8 歳末たすけあい運動事業	19
(7) 理事、監事、評議員研修	12	9 コミュニティ・ソーシャル・ワーク	20
(8) 後援名義承認	12	(1) 相談経路	20
(9) 表彰	12	(2) 支援活動	20
(10) 組織体系と事務分掌	13	(3) 支援内容	21
(11) 委員会活動報告	14	(4) ケース検討	21
ア 東京都共同募金会稲城地区配分推せん委員会	14	10 ボランティアのまちづくり推進事業	22
イ ボランティア活動推進協議会	14	(1) 養成・研修事業	22
ウ 在宅福祉事業運営委員会	14	ア 音訳講習会	22
(12) 実習生受け入れ	14	イ 美容ボランティア養成講座	22
(13) 安全衛生管理関係	15	ウ 災害ボランティア養成講座	22
(14) 稲城市社会福祉法人連絡協議会	15		
財政運営	15		
4 (1) 会員・会費の状況	15		

(2) ボランティア活動推進事業	23	(6) ヘルパー研修	36
ア ボランティア登録数	23	16 意思疎通支援事業	37
イ ボランティア連絡会	23	(1) 稲城市手話奉仕員派遣状況	37
ウ ボランティアグループ登録団体	23	(2) 東京都手話通訳・要約筆記派遣状況	37
エ ボランティアグループ活動費助成	23	17 ファミリー・サポート・センター事業	38
オ ボランティアの集い	23	(1) 事業説明会	38
(3) 福祉教育の推進	23	(2) 新規活動会員基礎研修	38
ア 体験ボランティア事業	23	(3) 活動会員研修	39
イ 体験学習・総合学習	24	18 障害者地域活動支援センター	39
ウ 研修	24	(1) 基礎的事業	39
エ 児童生徒のボランティア活動普及事業	24	ア プログラム利用	39
(4) ふれあいセンター設置・運営事業	25	イ オープンスペース利用	40
ア ふれあいセンター活動・利用状況	25	(2) 機能強化事業	40
(5) ふれあい・いきいきサロン推進事業	26	ア 生活相談	40
(6) 稲城市介護支援ボランティア制度	26	イ 関係機関との連絡調整	40
ア 月別登録者数・累計	26	ウ 訪問件数	41
イ 交付金	27	エ ケースカンファレンス	41
(7) プチハンズ	27	オ 精神保健福祉講演会	41
11 福祉センター運営事業	27	カ 関係機関との業務連絡会議	42
(1) 施設貸出し内容	27	キ とまりぎ	42
(2) 団体別利用状況	28	19 苦情解決制度	43
(3) 管理業務実施状況（修繕）	28	20 高齢者無料職業紹介所	43
(4) 利用団体懇談会	29	21 市防災倉庫等備品整備点検等事業	43
12 生活介護・就労継続支援事業	29	22 稲城市福祉権利擁護センター	43
13 障害者相談支援事業	30	(1) 福祉サービス利用援助事業	43
(1) 生活相談	30	(2) 相談件数	44
ア 障害別支援方法内訳	31	(3) 高齢者・障害者のための法律相談	44
イ 障害別支援内容内訳	31	(4) 稲城市保健福祉サービス苦情解決委員会	44
(2) 計画相談支援・障害児相談支援	31	23 災害に対する取組	44
(3) 地域自立支援協議会	31	(1) 台風15号による応援職員派遣	44
(4) 障害を理解する講演会	32	(2) 台風19号による応援職員派遣	44
14 有償家事援助事業（いなぎほっとサービス）	32	(3) 台風19号による佐野市災害支援	44
(1) サービス提供状況	32	24 地域における公益的な取組	45
(2) 活動会員研修会	33	25 職員研修	45
15 ヘルパーステーション事業	33	(1) 総務係	45
(1) 障害者総合支援法に基づくホームヘルプサービス等	33	(2) 地域福祉係	46
ア 居宅介護・重度訪問介護	33	(3) 在宅支援係	46
イ 同行援護事業	33	(4) 稲城市福祉権利擁護センター	48
ウ 移動支援事業	34	(5) 高齢者無料職業紹介所	49
(2) 稲城市生活支援ホームヘルプサービス事業	34	(6) 通所事業係	49
(3) 稲城市ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業	35		
(4) 稲城市育児支援ヘルパー事業	35		
(5) 介護予防・日常生活支援総合事業	36		

1. 令和元年度事業総括

当協議会は、平成 30 年度に「第五次稲城市住民活動計画（令和 5 年度までの 6 年間の事業計画）」を策定し「ともに支え、みんなでつくる思いやりのまち」の基本理念のもと、一人ひとりが抱える様々な問題を地域全体の課題として捉え、住民同士が力を合わせ、支え合い、課題解決をするための「思いやりのまちづくり」を推進するための事業を進めてきました。

□コミュニティ・ソーシャル・ワーク（CSW）機能の確立

CSWは、複合的な問題を抱えた世帯、福祉制度の狭間に陥っている世帯、自ら支援を求めることができない方々を主な対象として、地域住民や民生・児童委員、関係機関等との連携の中で、対象となる方の発見から支援までの仕組みを作り、個別の支援とそれを支える地域づくりの支援を合わせて行うものです。

令和元年度においても支援を必要としている住民からの相談を受け、関係機関と連携を図り横断的な支援をしてきました。平成 29 年度の試行開始時より「モデル地区」として選定した矢野口地区で実践してきましたが、それ以外の地区での相談にも対応してきました。相談内容は、精神的不安、住民トラブル、ひきこもり、老々介護による介護疲れ、ゴミ屋敷など制度の狭間にある課題や複雑かつ複数の課題を抱えるものでした。また、傾聴を行うことで不安の軽減を図りました。CSW の活動において、相談相手がなく、人と交流する場がない、気分転換をする場がないという福祉課題を 3 年の試行期間を経て把握しました。このような状況を踏まえ、市内に 8 か所ある「ふれあいセンター」に多くの住民が利用しやすいよう運営支援を行いました。ふれあいセンターから離れた場所には、サロン運営に協力してくれる住民と場所探しを行い、サロンの立ち上げをし、新たな社会資源の創出を行いました。

□組織体制の強化

・人事考課制度の実施

職員の資質、意欲の向上を図るための人事考課を実施しました。年 3 回の定期的な面接を行い、職員個々と目指す目標を達成するための「改善すべき点を話せる場」を数多くつくってきまし

た。当協議会の正規職員（令和 2 年 3 月 31 日時点）は、50 歳代 6 人、40 歳代 8 人、30 歳代 4 人、20 歳代 1 人という構成です。今年度 1 名が定年退職を迎え、世代交代の時期に差しかかっています。

・「働き方改革」に関する改正等

国の方針とする「働き方改革」は、（1）時間外勤務の上限規制（2）年次有給休暇の年間 5 日取得（3）「同一労働・同一賃金」を柱として示されました。これを受け、当協議会においても、就業規則の改正の他、短時間・有期雇用等職員と正規職員

との格差是正に取り組みました。

(1) 就業規則の改正

国が示す「働き方改革」を基にしたモデル就業規則をベースとし、就業規則の全面的な見直しを行いました。

(2) 有期雇用契約職員等の働き方に関する説明会の実施

有期雇用等職員を対象に当協議会の「働き方改革」に対する取り組みについて説明会を開催し、令和 2 年度から見直される働き方（就業規則を基に勤務時間、報酬、期末手当等）について、理解を得ながら進めました。

(3) 「給与規程」を改正し「公益通報及び通報者の保護に関する規程」を制定しました。

・ 広域地区対象の研究会参加

(1) 「関東ブロック・郡市区町村社協職員合同研究協議会」

関東甲信越静地方（1 都 10 県）の都県・郡市区町村社協職員が一堂に会し2日間にわたり 300 名程度が集まる研修会に、当協議会から 3 名の職員が参加しました。それぞれの社協での取り組みを基に、直面する諸課題について研究、討議をしてきました。

(2) 第 13 回全国校区・小地域福祉活動サミット IN さやま

全国の小地域福祉活動に取り組む実践者同士が集い、全国の取り組みを学ぶ場、実践者同士の交流の場、として2日間開催され、1,000 名程度が集まる研修に、当協議会から2名の職員が参加しました。小地域福祉活動に関する事例等を聞き、互いの活動に関する意見交換を行い、これまでの活動を振り返る貴重な機会になりました。

□ 役員改選について

定款第 18 条及び 19 条の規定により役員改選を行い、定数を満たす新たな役員で6月27日からスタートしました。

8 月には、理事、監事、評議員を対象に当協議会の事業を知っていただくための研修会を開催しました。事業に関する研修（CSW・ひきこもり支援について）と視察研修（生活介護事業・就労継続支援事業・ふれあいセンター）を行い、16 名が出席がありました。

□ 災害に備えた取り組み

令和元年9月・10月に発生した台風15号と19号では各地に被害が発生し、多くの市区町村で災害ボランティアセンターが設置されました。当協議会では、千葉県鋸南町災害ボランティアセンターへ1名、八王子災害ボランティアセンターへは延べ14名の職員を派遣しました。

また、栃木県佐野市では、同じく台風19号の豪雨により複数の河川が氾濫し、広範囲にわたる床上、床下浸水の被害が発生し、11月に2回ボランティアバスを

運行し、市民、稲城青年会議所、稲城市職員とともに被災住宅等の汚泥除去等の作業を行いました。

その他の被災地支援活動として、東京都災害ボランティアセンターから台風19号被災者支援のための都内一斉街頭募金の提案を受け、市内高校生、関係団体、民生児童委員の方々のご協力を得て、若葉台駅周辺で街頭募金を実施しました。

稲城市内で大災害が発生した場合には、当協議会は、市の災害対策本部と連携を取りながら、「稲城市災害ボランティアセンター」を立ち上げます。今年度は災害ボランティアセンターをより実効性のあるものとする経験をした1年でした。

□福祉サービス第三者評価の受審

障害者総合支援法に基づく生活介護事業及び就労継続支援事業B型において、3年に一度の受審が義務付けられている第三者評価を受審しました。

福祉サービス第三者評価は、利用者の方々へ良質で適切なサービスを提供することを目的に、公平・中立な第三者機関が専門的かつ客観的な評価を行い、評価結果を幅広く公表するものです。

評価結果は、両事業ともに大きな指摘事項はなく、適切なサービスを提供しているというものでした。

□多摩プロゴルフ会からの寄付

多摩プロゴルフ会から「障害をお持ちの方々に日々有意義な時間を過ごして頂きたい」という主旨のもと、稲城市内で障害児・者を対象とする事業に対し、寄付をいただきました。

当協議会においては、生活介護事業と就労継続支援事業(ゆう芳の里・喫茶陽だまり)が対象となり、生活介護事業では健康管理に重要な体重計、ゆう芳の里では作業効率を上げるためのシンクの増設、喫茶陽だまりでは環境整備のための空気清浄機、掃除機を購入しました。

2. 重点事業の進捗状況

(1) モデル地区における「コミュニティ・ソーシャル・ワーク（CSW）」機能の確立に向けた事業の継続実施（地域福祉係）

モデル地区の矢野口地区を中心に、アウトリーチを積極的に行う中で見えてきた、誰でも自由に参加できる住民のための「地域の居場所」を増やすため、新たなサロンを立ち上げました。既存のサロンには地域包括支援センターと連携して運営支援を行いました。並行して、ふれあいセンターが地域の福祉拠点となるよう、多世代向けイベントの実施等の企画、運営支援を行いました。

また、市内子ども食堂を運営する社会福祉法人及び団体との情報交換会を開催し、実施内容、現状及び課題について話し合い、連携を深めました。

個別支援においては、地域包括支援センター及び社協内からの支援要請により、ゴミ屋敷、介護負担増により経済的に困窮するなど重層的な生活課題を抱える世帯の支援等を行いました。

(2) 会員拡充（地域福祉係）

自治会連合会連絡協議会を開催し、社協事業の説明と会員募集への協力を依頼しましたが、新たにご協力いただける自治会はありませんでした。

自治会連合会連絡協議会では、会員数の減少傾向が続く中、社協から自治会に支出している地域福祉事業推進費について見直しの提案が出され、今後の検討課題となっています。

会員総数については、会員数及び会費額の合計は、平成29年度と比較するとそれぞれ1.8%、1.9%減少しました。

(3) ふれあいセンター事業の推進

8か所のふれあいセンターで、それぞれ地域の実情、地域住民が希望することなどを中心にコーディネーターとともに検討し、健康や生活に役立つ講座、季節の行事などレクリエーションを開催しました。

令和元年度の8か所の利用者総数は、前年度から2.1%減少しています。これは、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3月は全てのふれあいセンターが休止したことが影響しています。

市内には、介護予防体操や介護支援ボランティア制度を利用したボランティア活動等に参加する高齢者が多くいる中、体力が低下しているが外出したい、認知症予防に誰かと話がしたい等の相談を受け、虚弱傾向にある高齢者を対象としたふれあいセンター利用について協議をしました。

(4) 地域の「居場所（交流の場）」の支援

ふれあい・いきいきサロン推進事業の要綱を制定し、事業を開始しました。活動費助成のほか、立ち上げの相談支援、参加者の傷害保険の加入、周知用の旗の貸与など、地域の居場所の積極的な支援を行いました。CSW の推進と合わせて支援を行った結果、地域の居場所は、昨年度から 7 件増加しました。

また、支援の一つとして、登録サロンの他にふれあいセンターコーディネーターを加え、サロン活動者同士の交流を図るサロン交流会を企画しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止としました。

(5) 「ひきこもり」の状態にある方への支援

障害者相談支援事業では、従来の相談支援とともに「ひきこもり」の方への支援を重点的に取り組みました。「ひきこもり」に関する相談件数は徐々に増え、需要が増えている現状です。

平成 31 年 4 月に、ひきこもり家族会「ぼの」を立ち上げました。参加者は、1 年間を通して一定数の参加があり、勉強会、交流会の実施等に関する予算面での支援のほか、運営面でのアドバイス等を行いました。今後、家族会が安定的に運営されることが重要であることから自主運営にむけた支援を続けていきます。

障害者地域活動支援センターでは、ひきこもりの方の居場所「とまりぎ」の開催を継続的にすすめ、今年度から会場を替え、月 2 回福祉センターで開催しました。内容についても、参加しやすく、心地よい環境であるように配慮し、サポーターと協議を重ね模索しながらすすめてきました。その結果、参加者は昨年度より増加し、定着している状況にあります。同時にアウトリーチ（訪問活動）を行い、個々の状況に合わせた支援を継続的に行ってきました。「とまりぎ」については、全国ひきこもり家族会季刊誌に特集記事「注目する取り組み」として掲載されました。

家族会「ぼの」及び「とまりぎ」は、制度の狭間にある困りごとを抱え、支援を必要としている方々からの相談から生まれたものです。今年度 2 つの実施形態を確立できたことは社会資源を創出したことに繋がり、大きな成果であったと捉えます。

(6) 新たな商品の開発（通所事業係：障害者就労支援 B 型事業）

昨年度、食品乾燥機を購入し、今年度は「乾燥果実」「乾燥野菜」等の製品化を目指し、ドライ梨、切り干し大根、干し椎茸、野草茶の製作に取り組みました。

東京南農業協同組合稲城地区青壮年部から委託を受け稲城市の特産品である梨を「ドライ梨」として市民まつりで販売し、完売することができました。農家から数多くの梨をいただき、収益を利用者工賃へ反映させることができました。

また、「どくだみ茶」「柿の葉茶」「桑の葉茶」といった野草茶の製作を試みました。中でも「どくだみ茶」は一定の売り上げを得ることができました。新たな商品

として取り組んだ乾燥物の製品は、乾燥機の容量に限りがあり大量生産が難しい課題が見えてきましたが、年間を通して約 13 万5千円の収益を上げることができました。

(7) 「地域における公益的な取り組み」の実施

社会福祉法人に社会貢献事業（地域における公益的な取組）の実施が責務として規定されたことを受けて、当協議会においても令和元年度より「子どもの居場所・くれば！」を東保育会と永明会との共同事業として始めました。

毎月第2木曜日を「学習支援の日」、第4木曜日を「学習支援・子ども食堂・交流の場（三機能の日）」とし、ボランティアや駒沢女子大学の学生、また、地域の方々のご協力をいただきながら実施し、中でも三機能の日には、毎回十数名の子どもたちの参加があり、夜の8時過ぎまで元気な声が聞こえていました。

(8) 「稲城市社会福祉協議会連絡協議会」の取り組みの充実

「稲城市社会福祉法人連絡協議会」は平成30年度に市内の13法人で組織化し、当協議会が事務局を担い、法人間の連絡と情報共有が円滑にすすむよう努めました。

各法人においては、人材確保（求人）が常に大きな課題とされており、令和元年度には東京都社会福祉協議会と連絡協議会の共催による「福祉のしごと 相談・面接会」を9月に実施し、更に2月にも連絡協議会単独で「福祉のしごと相談会」を開催し、延べ38名の参加者があり、8名の方がいずれかの法人に就職しました。

また、今日の大きな課題である「働き方改革」への取り組みについての「講演会」を予定しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とし、各法人の意見を聞きながら、新年度に再検討を行う予定です。

3 組織運営（総務係）

(1) 役員等の状況 (単位：人)

項目	理事	監事	評議員
定数	10以上14以内	2	15以上20以内
現員数	13	2	17

(2) 三役会

開催日	内 容
令和1年6月12日	理事会・評議員会への提出案件・その他
令和1年10月16日	理事会・評議員会への提出案件・その他

(3) 理事会

(第1回) 令和元年6月12日

出欠数	出席理事11人、欠席2人、監事2人		
議案	第1号	平成30年度事業報告の承認について	可決
	第2号	平成30年度決算の承認について	可決
	第3号	評議員候補者の推薦について	可決
	第4号	有償家事援助事業利用料債権の放棄について	可決
	第5号	令和元年度定時評議員会の招集事項について	可決
協議報告事項	1	役員候補者について	
	2	予算流用に関する報告について ・ボランティア活動推進事業区分（第1号） ・福祉サービス利用援助事業区分（第1号） ・受験生チャレンジ支援事業区分（第1号） ・障害者生活介護事業区分（第3号） ・障害者就労継続支援事業区分（第3号） ・稲城市受託事業区分（第1号） ・福祉有償運送事業区分（第1号）	
	3	その他	

(第2回) 令和元年6月27日

出欠数	出席理事12人、欠席1人、監事2人		
議案	第6号	会長・副会長・常務理事の選任について	可決
協議報告事項	1	委員会委員の選出について	
	2	その他	

(第3回) 令和元年10月16日

出欠数	出席理事12人、欠席1人、監事1人		
議案	第7号	稲城市社会福祉協議会職員就業規則の改正について	可決
	第8号	稲城市社会福祉協議会有期雇用契約職員就業規則の改正について	可決
	第9号	稲城市社会福祉協議会職員給与規程の改正について	可決
	第10号	稲城市社会福祉協議会公益通報及び通報者の保護に関する規程の制定について	可決

	第11号	評議員候補者の推薦について	可決
	第12号	令和元年度補正予算について ・法人運営事業区分（第1号・第2号・第3号） ・地域福祉事業区分（第1号） ・ボランティア活動推進事業区分（第1号） ・助成事業区分（第1号） ・生活福祉資金貸付事務受託事業区分（第1号） ・福祉サービス利用援助事業区分（第1号・第2号） ・障害者生活介護事業区分（第1号・第2号） ・障害者就労継続支援事業（第1号・第2号） ・居宅介護等事業区分（第1号） ・地域活動支援センター区分（第1号） ・相談支援事業区分（第1号・第2号） ・稲城市福祉センター指定管理事業区分（第1号） ・高年齢者無料職業紹介所運営事業区分（第1号） ・福祉有償運送事業区分（第1号） ・介護予防・日常生活支援総合事業区分（第1号）	可決
	第13号	第2回評議員会の招集事項について	可決
協議報告事項	1	職務の執行状況について ・会長報告 ・常務理事報告	
	2	その他 ・令和元年度表彰式について ・令和元年度歳末たすけあい運動事業について ・その他	

（第4回）令和2年1月29日

出欠数	出席理事13人、監事2人		
議案	第14号	評議員候補者の推薦について	可決
	第15号	評議員候補者の推薦について	可決
	第16号	令和元年度補正予算について ・地域福祉事業区分（第2号）	可決
	第17号	権利の放棄について	可決
	第18号	第3回評議員会の招集事項について	可決
協議報告事項	1	予算流用に関する報告について ・法人運営事業区分（第1号） ・地域福祉事業区分（第2号）	
	2	職務の執行状況について ・会長報告 ・常務理事報告	

	3	事務局報告：令和元年度に行った「災害被災地支援活動」について ・千葉県鋸南町災害ボランティアセンターへの職員派遣 ・八王子市災害ボランティアセンターへの職員派遣 ・栃木県佐野市における災害ボランティア活動
	4	その他 ・令和元年度歳末たすけあい運動事業について ・その他

(第5回) 定款第30条第2項に基づく決議の省略

決定した日 令和2年3月23日

出欠数	同意した理事：13名 確認した監事：2名		
議案	第19号	副会長の選定について	可決
	第20号	稲城市社会福祉協議会職員就業規則の改正について	可決
	第21号	稲城市社会福祉協議会嘱託職員等就業規則の改正について	可決
	第22号	令和元年度補正予算について ・法人運営事業区分（第4号・第5号・第6号） ・地域福祉事業区分（第3号） ・ボランティア活動推進事業区分（第2号） ・障害者生活介護事業区分（第3号） ・障害者就労継続支援事業区分（第3号） ・相談支援事業区分（第3号・第4号）	可決
	第23号	権利の放棄について	可決
	第24号	令和2年度稲城市社会福祉協議会事業計画について	可決
	第25号	令和2年度稲城市社会福祉協議会資金収支予算について	可決
	第26号	第4回評議員会の招集事項について	可決

(4) 評議員会

定時評議員会 平成元年6月27日

出欠数	出席評議員14人、欠席2人、監事2人		
議案	第1号	平成30年度事業報告の承認について	可決
	第2号	平成30年度決算の承認について	可決
	第3号	有償家事援助事業利用料債権の放棄について	可決
	第4号	稲城市社会福祉協議会理事の選任について	可決
	第5号	稲城市社会福祉協議会理事の選任について	可決
	第6号	稲城市社会福祉協議会理事の選任について	可決
	第7号	稲城市社会福祉協議会理事の選任について	可決
	第8号	稲城市社会福祉協議会理事の選任について	可決
	第9号	稲城市社会福祉協議会理事の選任について	可決
	第10号	稲城市社会福祉協議会理事の選任について	可決
	第11号	稲城市社会福祉協議会理事の選任について	可決
	第12号	稲城市社会福祉協議会理事の選任について	可決
	第13号	稲城市社会福祉協議会理事の選任について	可決

	第14号	稲城市社会福祉協議会理事の選任について	可決
	第15号	稲城市社会福祉協議会理事の選任について	可決
	第16号	稲城市社会福祉協議会理事の選任について	可決
	第17号	稲城市社会福祉協議会監事の選任について	可決
	第18号	稲城市社会福祉協議会監事の選任について	可決
協議報告事項	1	その他	

(第2回) 令和元年10月24日

出欠数	出席評議員10人、欠席6人、監事2人		
議案	第19号	稲城市社会福祉協議会職員就業規則の改正について	可決
	第20号	稲城市社会福祉協議会有期雇用契約職員就業規則の改正について	可決
	第21号	稲城市社会福祉協議会職員給与規程の改正について	可決
	第22号	稲城市社会福祉協議会公益通報及び通報者の保護に関する規程の制定について	可決
	第23号	令和元年度補正予算について ・法人運営事業区分（第1号・第2号・第3号） ・地域福祉事業区分（第1号） ・ボランティア活動推進事業区分（第1号） ・助成事業区分（第1号） ・生活福祉資金貸付事務受託事業区分（第1号） ・福祉サービス利用援助事業区分（第1号・第2号） ・障害者生活介護事業区分（第1号・第2号） ・障害者就労継続支援事業（第1号・第2号） ・居宅介護等事業区分（第1号） ・地域活動支援センター区分（第1号） ・相談支援事業区分（第1号・第2号） ・稲城市福祉センター指定管理事業区分（第1号） ・高齢者無料職業紹介所運営事業区分（第1号） ・福祉有償運送事業区分（第1号） ・介護予防・日常生活支援総合事業区分（第1号）	可決
協議報告事項	1	その他 ・令和元年度表彰式について ・令和元年度歳末たすけあい運動事業について ・その他	

(第3回) 令和2年2月6日

出欠数	出席評議員15人、欠席1人		
議案	第24号	理事の選任について	可決
	第25号	令和元年度補正予算について ・地域福祉事業区分(第2号)	可決
	第26号	権利の放棄について	可決

協議報告事項	1	事務局報告：令和元年度に行った「災害被災地支援活動」について ・千葉県鋸南町災害ボランティアセンターへの職員派遣 ・八王子市災害ボランティアセンターへの職員派遣 ・栃木県佐野市における災害ボランティア活動
	2	令和元年度歳末たすけあい運動事業について
	3	その他

(第4回) 定款第16条第4項に基づく決議の省略

決定した日 令和2年3月31日

出欠数	同意した評議員：16名		
議案	第27号	稲城市社会福祉協議会職員就業規則の改正について	可決
	第28号	稲城市社会福祉協議会嘱託職員等就業規則の改正について	可決
	第29号	令和元年度補正予算について ・法人運営事業区分（第4号・第5号・第6号） ・地域福祉事業区分（第3号） ・ボランティア活動推進事業区分（第2号） ・障害者生活介護事業区分（第3号） ・障害者就労継続支援事業区分（第3号） ・相談支援事業区分（第3号・第4号）	可決
	第30号	権利の放棄について	可決
	第31号	令和2年度稲城市社会福祉協議会事業計画について	可決
	第32号	令和2年度稲城市社会福祉協議会資金収支予算について	可決

(5) 評議員選任・解任委員会

(第1回) 令和元年6月20日

出席	監事：2名 外部委員：2名 事務局職員1名		
議案	第1号	評議員の選任について	可決
	第2号	評議員の選任について	可決

(第2回) 令和元年10月17日

出席	監事：2名 外部委員：2名 事務局職員1名		
議案	第3号	評議員の選任について	可決

(第3回) 令和2年1月30日

出席	監事：2名 外部委員：2名 事務局職員1名		
議案	第4号	評議員の選任について	可決
	第5号	評議員の選任について	可決

(6) 監査

決算監査

実施日	令和元年6月4日
内 容	平成30年度決算監査

(7) 理事・監事・評議員研修

実施日	令和元年8月8日	参加者数	16名
内容	事業説明	コミュニティ・ソーシャル・ワーク及び「ひきこもり」に関する取り組みについて	
	視察	「生活介護」「エイトピア工房」「ふれあいセンター大丸」	

(8) 後援名義承認（総務係）

No	承認日	事業名	団体名	実施日
1	5月10日	第42回住宅ディ	東京土建一般労働組合多摩・稲城支部	6月9日
2	7月29日	講演会「成年後見制度利用促進法で何が変わるか！」	ソーシャルネット南のかぜ	10月12日
3	6月21日	オータムコンサート	平尾ベルの会	10月12日
4	9月17日	講演会「行きやすい場所、生きやすい町」	稲城市精神障害者家族会	11月11日
5	9月20日	どけんまつり	東京土建一般労働組合多摩・稲城支部	11月10日
6	10月8日	第41回クリスマスコンサート	東京稲城少年少女合唱団	12月16日・22日
7	11月19日	第3回・第4回合同就職面接会	東京しごと財団	12月19日・2月21日
8	11月28日	連続講座「障がいを理解し、ともに地域で生きるために」	おしゃべりサロン	12月15日・1月26日 2月9日
9	11月26日	アートパラダイス展	アートパラダス	3月1日～30日
10	12月19日	映画「星に語りて」上映会	いなぎ「星に語りて」上映実行委員会	3月11日（延期）
11	1月9日	第22回チャリティコンサート	和太鼓の会「鼓遊」	12月20日
12	2月6日	手作り市民まつり 2020	稲城手づくり市民まつり実行委員会	中止
13	2月17日	無料法律相談会	多摩パブリック法律事務所	6月20日
14	3月30日	国際交流文化祭	繋連 八福神社中繋	中止

(9) 表彰（総務係）

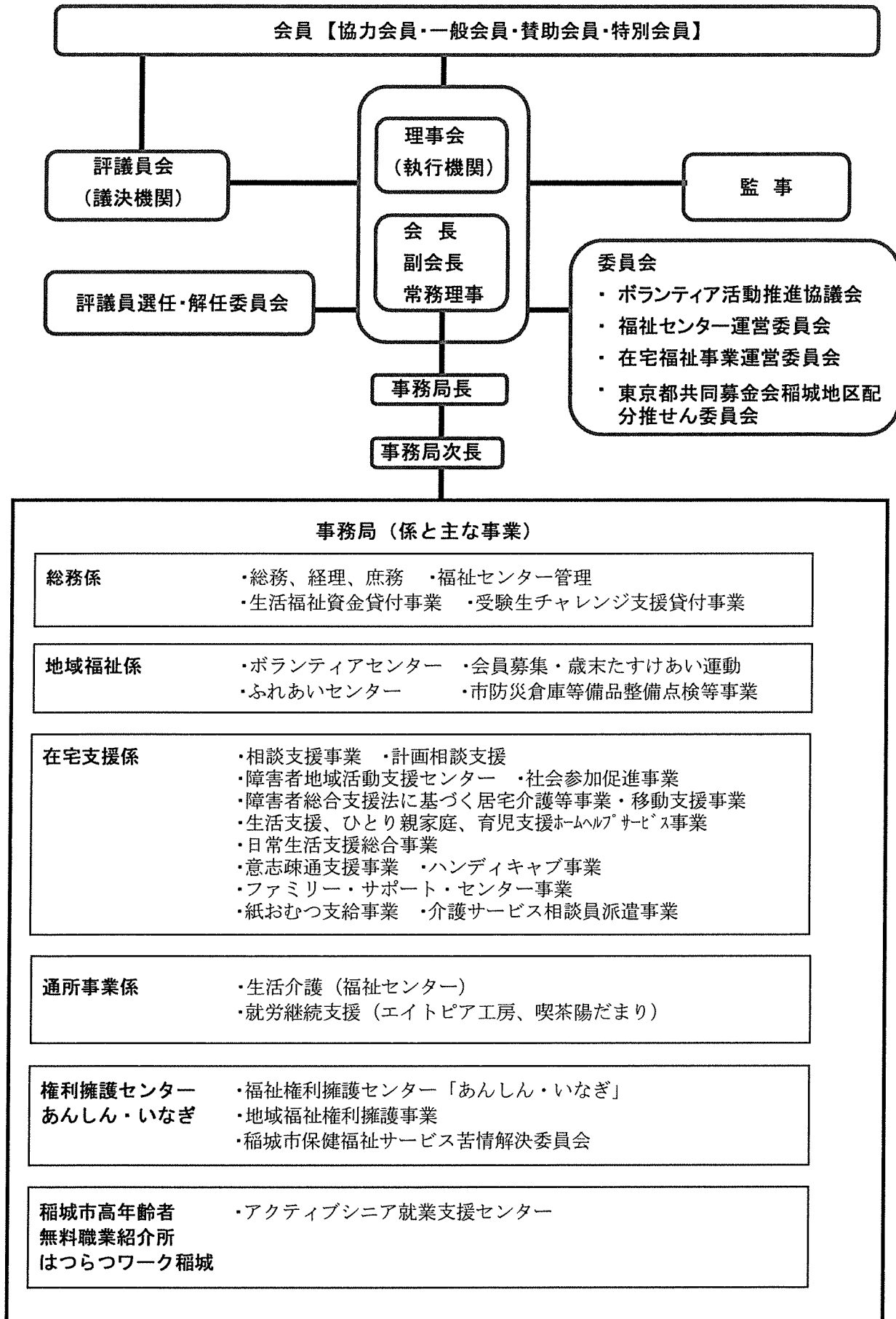
表彰審査会

開催日	10月2日
出席	会長・副会長・常務理事・事務局長
内容	表彰審査・表彰式について

元年度表彰式

実施日	令和元年11月7日		
会場	福祉センター		
被表彰者	功績（団体）	1	団体
	役員等表彰	2	人
	寄付（個人）	4	人
	寄付（団体、法人）	12	団体

(10) 組織体系と事務分掌



(11) 委員会活動報告

ア 東京都共同募金会稲城地区配分推せん委員会（地域福祉係）

目的	共同募金運動（赤い羽根共同募金と歳末たすけあい運動）により集められる募金の配分方法などについて検討する。	
第1回	実施日	7月26日
	内容	・委嘱状交付及び正副委員長互選 ・赤い羽根共同募金全都配分（A配分）推せん報告について ・赤い羽根共同募金地域配分（B配分）の募集要領について ・令和元年度サロン活動助成について ・歳末たすけあい運動助成事業（C配分）の募集要領について ・令和元年度歳末たすけあい運動について ・令和元年度配分推せん委員会年間スケジュールについて
第2回	実施日	12月5日
	内容	・赤い羽根共同募金地域配分（B配分）の推せんについて
第3回	実施日	1月23日
	内容	・令和元年度歳末たすけあい運動結果報告について ・歳末たすけあい運動助成事業（C配分）の推せんについて ・赤い羽根共同募金地域配分（B配分）の推せんについて（追加分）

イ ボランティア活動推進協議会（地域福祉係）

目的	ボランティア活動に関する企画・立案、ボランティアセンターの運営に関する提言を行う。	
第1回	実施日	3月19日（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
	内容	・委嘱状交付及び正副委員長互選 ・稲城市社会福祉協議会ボランティア活動推進協議会について ・台風15号及び19号被災地支援活動報告について ・コミュニティソーシャルワークの実施状況について

ウ 在宅福祉事業運営委員会

目的	有償家事援助事業、ファミリー・サポート・センター事業、ハンディキャブ事業、その他在宅福祉事業が適切に運営できるよう諸課題について検討する。	
第1回	実施日	3月9日
	内容	・委嘱状の交付 ・正副委員長互選 ・福祉有償運送事業について ・有償家事援助事業について ・ファミリー・サポート・センター事業について ・その他

(12) 実習生受入れ

目的	社会福祉援助技術現場実習
実習期間	6月28日～10月15日（延べ24日間）
人数	5人
学校名	武蔵野大学、明星大学、日本女子大学、駒澤大学

実習生受入れ

目的	介護福祉士養成実習
実習期間	8月19日～27日 12月11日～19日（6日間）
人数	4人
学校名	東京都立野津田高等学校

(13) 安全衛生管理関係

実施項目	実施日	対象者
健康診断	5月27日～31日	職員・嘱託職員・臨時職員
健康診断	8月29日～30日	
腰痛検査		
産業医	毎月 職員面接・ストレスチェック・講演会（1回）等の実施	

(14) 稲城市社会福祉法人連絡協議会

実施日	参加法人	テーマ
6月19日	11法人	令和元年度総会
7月31日	8法人	情報交換会
9月20日	10法人	福祉のしごと 相談・面接会（東社協共催事業）
2月2日	7法人	福祉のしごと&なんでも相談会（連絡協議会主催事業）

4 財政運営

(1) 会員・会費の状況（地域福祉係）（単位：人、円）

区分	令和元年度		平成30年度	
	会員	賛助金	会員	賛助金
協力会員	278	55,725	224	38,020
一般会員	7,563	3,784,700	8,242	4,126,100
賛助会員	167	178,000	221	243,600
特別会員	213	1,229,000	210	1,240,000
計	8,221	5,247,425	8,897	5,647,720

(2) 寄付金（総務係）（単位：件、円）

区分	令和元年度		平成30年度	
	件数	金額	件数	金額
一般寄付	71	1,934,745	70	2,156,630
指定寄付	6	557,902	4	129,800
合計	77	2,492,647	74	2,286,430

(3) 会員募集に関わる説明会等（地域福祉係）

実施日	団体名	会場
5月8日	矢野口自治会根方地区	矢野口コミュニティセンター
5月8日	矢野口自治会宿三谷地区	宿三谷公会堂
5月9日	矢野口自治会中部地区	矢野口自治会館
5月9日	矢野口自治会塚戸地区	塚戸コミュニティセンター
5月10日	矢野口自治会中島地区	中島集会所
6月20日	平尾分譲住宅自治会	平尾分譲住宅自治会集会室
7月3日	稲城市自治会連合会	福祉センター
10月5日	百村自治会	百村自治会館
10月19日	大丸自治会	大丸自治会館
11月7日	押立自治会	押立ふれあい会館

5 広報活動

広報媒体	内容	年間発行回数	1回の発行部数
いなぎ社協だより	社会福祉協議会機関紙	6	24,500（2回のみ38,600）
ふれあい通信	いなぎ社協だよりに掲載	6	24,500（2回のみ38,600）
	単独発行	6	1,700
ほっと通信	有償家事援助事業通信	3	160
ぼえむ	地域活動支援センター通信	12	80
チャイルドネットワーク	ファミリー・サポート・センター通信	3	200
ホームページ	ウェブサイトの情報提供	ページビュー総数 43,352件	

6 福祉事業

(1) 高齢者等福祉事業

寝たきり高齢者等おむつ支給事業（在宅支援係）

目的	寝たきり等の高齢者及び重度心身障害者（児）に対し、紙おむつを支給し、保健衛生の向上と介護にあたる家族の負担軽減を図る。		
支給延べ人数	1,604人	（内訳）	高齢者 1,057人 障害者 547人

(2) ひとり親・児童福祉事業

ひとり親家庭カウンセリング相談事業（在宅支援係）

目的	市内に在住・在勤・在学する母子・父子家庭の親及び養育家庭を対象とし、心理カウンセラーが面接を行い、相談者の持つ悩みや問題などに対して、相談者が自分自身の力で解決していけるように支援をする。
開設日時	毎月第2・4土曜日 13時～16時
相談件数	3回

(3) 障害者福祉事業

ア ハートフルステージ(在宅支援係)

目的	市内特別支援学級の児童・生徒、市内障害者福祉施設の利用者や障害がある方々などの表現活動をととして、障害者の理解促進を図る。
実施日時	2月21日（金）10時～13時
参加者数	参加者230人（出演者147人、引率83人）、観客数212人 スタッフ等26人

イ あおぞらスポーツ(在宅支援係)

目的	運動会をととして障害のある方とない方が交流し、お互いの理解促進を図る。
実施日時	4月20日（土）10時～14時30分
参加者数	140人（参加者数72人 スタッフ等68人）

ウ 障害者社会参加促進事業（在宅支援係）（単位：人）

事業名	実施日	内容	会場	参加者
知的障害者外出プログラム	6月1日	動物園散策	多摩動物公園	9
知的障害者料理教室	7月27日	タコライス&スープ&デザート	福祉センター	11

エ 手話通訳者養成事業〈手話講習会〉（在宅支援係）（単位：人、回）

目的	聴覚障害者の理解と社会参加の支援・稲城市登録手話通訳者の養成			
期間	5月～3月			
内容	登録手話通訳者養成講習			
コース	修了者／受講者	実施回数	実施日	
入門コース（昼）	11人／13人	30回	金曜日	
〃（夜）	5人／12人	30回	金曜日	
基礎コース（昼）	0/6人	30回	金曜日	
〃（夜）	3人／13人	30回	金曜日	
応用コース（昼）	2人／11人	30回	金曜日	
〃（夜）	1人／5人	30回	金曜日	
通訳コース（昼）	4人／6人	30回	金曜日	
〃（夜）	4人／4人	30回	金曜日	
計	30人／70人			

(4) 相談事業

ア 心配ごと相談（在宅支援係）

目的	民生委員が相談員となり、住民が生活の中で困っていることに対して、地域の社会資源を活用して解決できるよう支援を行い、地域住民の福祉の増進を図る。
実施日時	毎月第1・3水曜日 10時～12時
実施回数	20 回
相談件数	5件
相談内容	生活、家族、近隣トラブル他

イ 介護サービス相談員派遣事業（在宅支援係）

目的	市内高齢者施設へ相談員を派遣し、利用者のサービスに対する疑問や不満、不安の解消を図るとともに、派遣を受けた事業所における介護サービスの質的な向上を図る。
対象	市内の介護保険利用者（デイサービス、ショートステイ、施設入所・入居者等）
派遣施設	市内12施設（いなぎ苑、いなぎ正吉苑、ひらお苑、ハーモニー松葉、デンマークイン若葉台、ペアウェル多摩川、ニチイホーム稲城、そんぽの家、いなぎ苑みさわ川デイサービス、ベストライフたま、やのくち正吉苑、みんなの家稲城長沼）
派遣回数	143回
業務連絡会	12回

(5) 福祉有償運送（ハンディキャブ事業）（在宅支援係）（単位：人、件、Km）

目的	道路運送法に基づく事業（福祉有償運送）。単独で公共交通機関を利用する事が困難な身体障害者及び介助の必要な高齢者の積極的な社会参加を促すため、運転協力員によりリフト付き車両を運行する。					
区分	令和元年度			平成30年度		
運転協力員	9			12		
登録会員	149			183		
事業実績	利用者数	利用件数	走行距離	利用者数	利用件数	走行距離
4月	78	187	3,065	92	254	4,850
5月	67	168	2,877	90	260	4,787
6月	70	202	3,204	85	269	4,835
7月	65	208	3,632	93	232	4,407
8月	69	211	3,486	82	247	4,550
9月	66	196	2,989	73	202	3,534
10月	74	209	3,387	84	248	4,307
11月	60	158	2,878	77	224	3,947
12月	60	176	3,358	78	202	3,741
1月	65	149	2,644	79	189	4,120
2月	51	137	2,219	80	181	3,326
3月	44	107	2,275	68	186	3,427
合計	769	2,108	36,014	981	2,694	49,831
月平均	64	176	3,001	82	225	4,153

7 援護事業（総務係）

(1) 応急援護・貸付事業

ア 緊急援護費（単位：人、円、件）

目的	何らかの理由で自宅等のある住所地へ帰る費用に困窮した際の、応急交通費などを支給する。		
支給者数	支給金額	返還件数	返還金額
4	2,000	1	500

イ たすけあい資金

(単位：人、円、件)

目的	不時の出費又は収入欠如により、生活を維持するために必要とする資金を応急的に世帯に貸し付け、生活の安定と世帯の自立を図る。			
相談者数	貸付件数	貸付金額	当該年度分償還額	過年度分償還額
84	28	834,000	649,000	197,000

(2) 生活福祉資金貸付事業（総務係）

ア 生活福祉資金貸付事業

(単位：件、円)

資金種別	相談件数	貸付件数	貸付（決定）金額
教育支援費、就学支度費	159	5	8,450,000
技能取得費	0	0	0
生業費	4	0	0
出産・葬祭の経費	3	0	0
住居の移転等経費	6	0	0
障害者自動車	1	0	0
負傷・疾病	4	0	0
不動産担保型生活資金	1	0	0
緊急小口資金	25	0	0
緊急小口資金（新型コロナウイルス特例貸付）	15	15	3,000,000
その他	1	0	0
合 計	219	20	11,450,000

イ 総合支援資金貸付事業

(単位：件、円)

目的	失業等により日常生活全般に困難を抱えた世帯の生活の立て直しのために、一時的な資金の貸付を行い自立支援を図る。		
資金種別	相談件数	貸付件数	貸付金額
生活支援費貸付	23	0	0
生活支援費貸付（新型コロナウイルス特例貸付）	0	0	0
住宅入居費貸付	0	0	0
計	23	0	0

ウ 受験生チャレンジ支援貸付事業

(単位：件、円)

目的	学習塾などの費用や高校や大学などの受験費用について貸付けを行うことにより、一定所得以下の世帯の子供の支援を図る。		
資金種別	相談件数	貸付決定件数	貸付決定金額
学習塾等受講料費用	152	19	3,545,000
受験料費用	152	18	634,600
合 計	304	37	4,179,600

8 歳末たすけあい運動事業（地域福祉係）

実施日	項目
11月23日	歳末たすけあいバザー
12月1日～26日	地区募金
12月1日～7日	街頭募金（市内11カ所）

9 コミュニティソーシャルワーク

目 的	「複数の問題を抱えており、一つの機関では対応できない」、「制度の基準から支援の対象にならない」、「既存のサービスだけでは十分な対応ができない」など、ニーズの多様化・複雑化により、対象別の相談支援機関では対応が困難な課題に対し、地域住民や関係機関・団体などと連携して対応することで課題の克服を目指す。	
活動分類	個別支援	制度の狭間にある課題や複雑な課題を抱える住民に対して、本人や家族に寄り添いながら解決に向けた支援を行う。
	地域支援	地域住民や関係機関等と連携を図り、福祉コミュニティづくりや地域の課題解決に向けた支援を行う。

(1) 相談経路 (単位：件)

区 分	対象 実数	社協	住民	民生 委員	関係 機関	市	本人・ 家族	ふれあい センター	その他	合計
健康・医療	17	3	7	0	14	3	22	7	0	56
子ども	12	0	5	4	42	1	0	0	3	55
財産管理・権利擁護	1	5	0	0	11	0	2	0	0	18
住宅・住環境	7	11	0	1	20	5	12	0	13	62
住民活動の支援	88	0	254	3	86	7	0	262	4	616
福祉制度・サービス	12	3	2	0	9	0	6	0	0	20
その他	22	14	6	3	22	0	21	18	8	92
ひきこもり	48	0	0	0	51	0	205	0	0	256
合 計	207	36	274	11	255	16	268	287	28	1,175

(2) 支援活動

区 分	活動	対象 実数	※訪問	来所	電話	メール	会議 参加	※アウト リーチ	その他	合計
健康・医療	個別支援	17	8	7	32	0	1	0	8	56
	地域支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子ども	個別支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地域支援	12	12	4	11	22	2	0	4	55
財産管理・ 権利擁護	個別支援	1	9	2	6	1	0	0	0	18
	地域支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅・ 住環境	個別支援	7	27	4	26	1	0	1	3	62
	地域支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住民活動の 支援	個別支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地域支援	88	191	70	152	52	113	2	40	620
福祉制度・ サービス	個別支援	11	10	4	13	0	1	0	2	30
	地域支援	1	1	0	1	0	0	0	0	2
その他	個別支援	15	30	16	40	1	0	0	9	96
	地域支援	7	3	0	4	2	0	1	1	11
ひきこもり	個別支援	48	32	41	122	13	4	26	16	254
	地域支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	個別支援	99	116	74	239	16	6	27	38	516
	地域支援	108	207	74	168	76	115	3	45	688
累 計		207	323	148	407	92	121	30	83	1,204

※「訪問」
住民や住民活動を行うグループ、関係機関などからの依頼に応じて、自宅や活動場所などに訪問し支援を行うこと。
※「アウトリーチ」
住民などからの相談を待つのではなく、問題を抱えた住民や地域にこちらから出向き、相談支援や情報収集を行うこと。

(3) 支援内容

月	個別支援	地域支援
4	抑うつ状態の高齢者の対人トラブル、障害者のゴミについての近隣トラブルを中心に支援	主にサロンの新規立ち上げ支援、立ち上がって間もないサロンへの運営支援を行った。
5	市外から転入して間もない高齢者、抑うつ状態の高齢者の対人トラブル、ゴミ家屋の高齢者について関係者からの相談を受け支援	新規サロンの立ち上げの準備支援
6	抑うつ状態の高齢者の対人トラブル、ゴミ家屋の高齢者について関係者からの相談を受け支援	市内で子ども食堂を実施している団体への情報交換会開催調整、新規サロンの立ち上げの準備支援
7	ゴミ家屋の高齢者について関係者からの相談を受け支援	市内で子ども食堂を実施している団体との情報連絡会の開催、矢野ロフォーラム開催に向けた準備、ふれあいセンターへの行事支援を中心に支援
8	抑うつ状態や認知症の高齢者への関係機関との連携による症状改善の支援	矢野ロフォーラム開催に向けた準備、ふれあいセンターへの行事支援を中心に支援
9	近隣やふれあいセンターでのトラブルを抱える高齢者に関する住民及び関係機関と連携し状況把握	矢野ロフォーラムの開催支援、ふれあいセンターのプログラム支援
10	抑うつ状態や住民トラブルを抱える高齢者への支援	サロンの新規立ち上げ支援と立ち上がったサロンの運営支援
11	安否確認や住民トラブルを抱える高齢者への支援	ふれあいセンターの運営支援、特に年末に向けたクリスマス会、教養講座の計画を中心に支援
12	生活保護、高齢者の安否確認、抑うつ状態の住民への支援	サロンの新規立ち上げ相談、立ち上がって間もないサロンの運営支援、東日本大震災時の障害者の避難生活を題材にした映画上映開催に向けた支援、その他助成金の申請相談など
1	嫌がらせなどの近隣トラブル相談、精神的な不安を抱える住民、負債を抱える世帯への相談支援	サロン新規立ち上げ相談、立ち上がって間もないサロンへの運営支援、ボランティアグループへの歳末たすけあい助成金の申請に関する相談支援
2	老々介護世帯の住環境、高齢者が地域で活躍可能なボランティア活動、自主グループ活動など、社会資源探しなどに関し地域包括支援センターとともに支援	新型コロナウイルス感染拡大に伴うサロン、ふれあいセンターへの相談と対応方法に関する支援
3	高齢者世帯の年金手続き、埋葬、転居など今後の生活設計に関する相談支援	社協だより「子ども食堂」特集掲載により「子ども食堂」の立ち上げ相談。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ふれあいセンター及びサロンの実施に関する相談対応

(4) ケース検討

日程	10月7日
スーパーバイザー	日本社会事業大学 菱沼幹男氏
ケース内容	各係からのケース

10 ボランティアのまちづくり推進事業(地域福祉係)

(1) 養成・研修事業

ア 音訳講習会

目的	音訳の講習を実施し、基礎的な技術を身につける。また、音訳を通して、視覚障害者への理解を深め、当事者の情報獲得支援に関するボランティア活動を推進する。
内容	テキストを用いて音訳の基礎を学ぶ。
実施日	6月20日・27日・7月4日・11日・18日・25日
受講者数	13人
講師	磯部誠子氏・声のサークルこだま
会場	福祉センター

イ 美容ボランティア養成講座

目的	新たなボランティア養成講座の開発の一環として、美容に関するボランティアグループを養成し、ボランティア活動の内容を広げ、ボランティア活動参加者の拡大を図る。
内容	高齢者のスキンケアに関する講義及びハンドマッサージの実技
実施日	12月3日
受講者数	20人
講師	宮崎優子氏（宮崎美容研究所）、アシスタント7名
会場	福祉センター

ウ 災害ボランティア養成講座

目的	子育て世代及び障害者とその家族など災害弱者の災害への対処法や、小地域での災害時対応法を学ぶことで、市民の防災力を高め、災害支援に関するボランティアを育成する。
内容	①あんどおりすさんにきく！アウトドア×親子防災 ②障害のある人と家族のための防災講座 ③元消防署長こいずみさんと行く！つながろう矢野口防災さんぽ
実施日	①2月1日 ②3月13日（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） ③3月17日（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
受講者数	①20人 託児13人
講師	①あんどおりす氏（アウトドア防災ガイド） ②高木卓美氏（認定NPO法人難民を助ける会） ③小泉昭彦氏（前稲城市消防本部消防長、地域福祉係主査）
会場	①福祉センター ②福祉センター ③矢野口自治会館

(2) ボランティア活動推進事業

ア ボランティア登録数

新規個人登録者数	30	ボランティア保険加入者数	1,992
----------	----	--------------	-------

イ ボランティア連絡会

目的	市内のボランティアグループ同士の情報交換・活動支援のために月1回開催する。				
回数	実施日	参加団体数	回数	実施日	参加団体数
第1回	4月10日	13	第6回	10月9日	11
第2回	5月8日(里山さんぽ)	17(人)	第7回	11月6日	9
第3回	6月12日	12	第8回	1月8日	11
第4回	7月10日	12	第9回	2月12日	13
第5回	9月11日	12	第10回	3月11日(中止)	0

ウ ボランティアグループ登録団体

18団体	押立ボランティア、平尾ベルの会、声のサークルこだま、六点の会、手話サークルいなぎ、稲城手話同好会、太陽グループ、傾聴ボランティア「りすなー」、音楽ボランティア「風のおと」、稲城マジック愛好会、保育ボランティアひまわり、はらっぱの会、福祉体験サポート「一歩」、支え合う会みのり、里山プロジェクトみなみ、稲城・なごみの家、東京稲城里山義塾、フレンズ
------	--

エ ボランティアグループ活動費助成

14団体	押立ボランティア、平尾ベルの会、声のサークルこだま、六点の会、手話サークルいなぎ、稲城手話同好会、太陽グループ、傾聴ボランティア「りすなー」、音楽ボランティア「風のおと」、稲城マジック愛好会、保育ボランティアひまわり、はらっぱの会、福祉体験サポート「一歩」、東京稲城里山義塾
------	---

オ ボランティアの集い(隔年実施)

目的	ボランティア活動を始めたい市民に対し、イベントを通してボランティアグループの活動について情報提供するとともに、参加者同士の交流を図り、ボランティア同士のつながりを強化する。
内容	・登録ボランティアグループがブースで市民や施設職員に活動内容を説明 ・特技ボランティアによるステージ披露
実施日	1月16日
参加者数	ボランティア37人、関係機関2人、市民9人 計48人
会場	福祉センター

(3) 福祉教育の推進

ア 体験ボランティア事業

目的	夏休みの期間を利用して、中高生を中心にボランティア活動のきっかけとなる機会を提供する。様々な社会問題への関心を深め、地域社会を構成する一市民として社会的な諸活動に参加する意義を学び、少子化や核家族化が進行する中で、多様な人々とともに地域社会で暮らしていることの意味を理解し、その出会いの中から多様な価値観や自らの生き方について考える機会とする。
参加者数	121人
対象者	中学生以上
体験先	35カ所

イ 体験学習・総合学習

目的	未来の地域の創り手である児童及び生徒に対し、福祉に関する学びの機会を提供することで、ともに地域で生きるさまざまな生きづらさを抱えた人々への理解及び社会的包摂を促進し、地域の福祉力向上による地域課題の解決を図ることを目的とする。
----	---

市立小学校（実施校：12校 未実施：0校）

（単位：人）

学校名	学年	在席数	回数	延べ人数	内容
稲城第一小学校	4年	85	2	170	車椅子・白杖
稲城第二小学校	3年	26	1	25	手話・交流(聴覚)
稲城第二小学校	4年	13	3	39	点字・交流(視覚)・白杖
稲城第三小学校	4年	88	4	346	手話・車椅子・白杖・点字
稲城第四小学校	4年	98	5	490	手話・車椅子・白杖・点字・貸出(高齢者、ビデオ、DVD)
稲城第六小学校	4年	42	4	168	車椅子・点字・白杖・貸出(高齢者)
稲城第七小学校	4年	110	5	550	車椅子・手話・白杖・点字・貸出(高齢者)
平尾小学校	4年	100	4	390	車椅子・手話・白杖・点字
長峰小学校	4年	79	5	395	車椅子・白杖・交流(聴覚・視覚)・学習発表会
城山小学校	4年	52	4	204	車椅子・手話・視覚障害・点字
向陽台小学校	3年	70	1	68	車椅子
向陽台小学校	4年	67	1	67	白杖
若葉台小学校	4年	120	2	240	白杖・点字
南山小学校	4年	42	4	160	白杖・点字・交流(視覚)・貸出(高齢者・白杖)

市立中学校（実施校：2校、未実施校：4校）

（単位：人）

学校名	学年	在席数	回数	延べ人数	内容
稲城第一中学校	1年	119	4	444	点字・車いす・白杖・貸出(ビデオ)
稲城第二中学校	1年	85	1	85	交流(聴覚)

ウ 研修

研修内容	福祉教育及びボランティア活動に関する研修(教職員研修) ①体験(手話・車椅子・白杖・点字)・講話(聴覚・視覚) ②ボランティア体験
実施日	①8月6日 ②8月8日～26日のうち2日間選択
受講者数	①19人 ②7人
会場	①稲城市福祉センター介護予防教室及びその周辺 ②エイトピア工房

エ 児童生徒のボランティア活動普及事業

登録校数	20校	○市内公立小・中学校18校 ○駒沢学園女子中・高等学校 ○若葉総合高等学校
活動費助成校	15校	○市内公立小・中学校14校 ○駒沢学園女子中・高等学校

(4) ふれあいセンター設置・運営事業

目的	稲城市内の小地域福祉活動を推進し、地域福祉の増進、福祉活動の組織化活動、地域住民への情報提供、身近な相談窓口などを目的に設置及び運営する。		
名称	所在地	開館日時	開設日
ふれあいセンター 平尾	平尾3-1-3 平尾小学校内	月・水・金曜日 10時～15時	平成9年10月1日
ふれあいセンター 押立	押立410-3 ジョイハウスたまがわ集会室	月・水・金曜日 10時～15時	平成10年4月25日
ふれあいセンター 坂浜	坂浜2996-2 稲城老人会館内	月・水・金曜日 10時～15時	平成10年7月25日
ふれあいセンター 矢野口	矢野口1604 矢野口自治会館内	月・水・金曜日 10時～15時	平成10年11月9日
ふれあいセンター 百村・東長沼	百村7 福祉センター内	月・水・金曜日 10時～15時	平成14年10月1日
ふれあいセンター 向陽台	向陽台3-2 向陽台小学校内	月・水・金曜日 10時～15時	平成18年10月16日
ふれあいセンター 大丸	大丸1171 オーエンス健康プラザ内	月・木・金曜日 10時～15時	平成24年7月30日
ふれあいセンター 長峰	長峰2-1-1 あすか創建(株)敷地内	月・木・金曜日 10時～15時	平成30年10月1日

ア ふれあいセンター活動・利用状況

(単位：日、人)

区分		平尾	押立	坂浜	矢野口	百村 東長沼	向陽台	大丸	長峰	合計	平均	(日) (人)
4月	開設日数	13	12	12	12	12	12	12	12	97	12	
	利用者数	335	91	142	232	184	115	143	186	1,428	179	
5月	開設日数	11	11	11	11	12	11	11	11	89	11	
	利用者数	382	61	104	173	223	118	137	115	1,313	164	
6月	開設日数	13	12	12	12	11	12	11	12	95	12	
	利用者数	533	138	104	168	167	124	139	167	1,540	193	
7月	開設日数	14	13	13	13	13	13	12	13	104	13	
	利用者数	427	77	161	203	236	164	167	190	1,625	203	
8月	開設日数	10	12	9	11	10	8	12	11	83	10	
	利用者数	99	71	93	276	161	104	197	153	1,154	144	
9月	開設日数	12	11	11	11	11	12	11	11	90	11	
	利用者数	299	53	95	174	182	135	158	153	1,249	156	
10月	開設日数	12	12	12	12	12	12	12	12	96	12	
	利用者数	340	66	118	200	195	170	141	174	1,404	176	
11月	開設日数	12	12	11	12	12	12	12	12	95	12	
	利用者数	417	66	113	152	178	132	149	157	1,364	171	
12月	開設日数	11	10	9	11	11	11	9	11	83	10	
	利用者数	357	71	121	189	248	162	124	156	1,428	179	

1月	開設日数	10	9	9	10	9	10	10	11	78	10
	利用者数	338	58	108	131	126	114	116	125	1,116	140
2月	開設日数	11	11	11	11	11	10	10	11	86	11
	利用者数	319	91	109	156	158	120	98	181	1,232	154
3月	開設日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	開設日数	129	125	120	126	124	123	122	127	996	125
	利用者数	3,846	843	1,268	2,054	2,058	1,458	1,569	1,757	14,853	1,857
月平均	開設日数	11	10	10	11	10	10	10	11	83	10
	利用者数	321	70	106	171	172	122	131	146	1,238	155

(5) ふれあい・いきいきサロン推進事業

目的	地域住民が自主的に地域の中で気軽に集まる場所をつくり、相互交流を促進する取り組みを支援することにより、地域における生活を支える「つながりのネットワークづくり」を進め、「ともに支えみんなでつくる思いやりのまち」の実現を目指す。										
登録サロン数	16箇所（内新規4箇所）										
年間延べ開催数	331回										
年間延べ参加者数	5,653人（内新規549人）										
年間延べボランティア参加者数	1,114人（内新規103人）										
事業説明会	実施日	7月18日						参加者	9人		
研修・交流会	実施日	3月10日（中止）						参加者	0人		

(6) 稲城市介護支援ボランティア制度

目的	介護予防事業の一つとして、65歳以上の方が介護支援ボランティア活動を通じて地域貢献や社会活動に参加することで、より元気にいきいきとした地域社会になることを目的とする。
----	---

ア月別登録者数・累計

（単位：人）

区分	令和元年度		平成30年度	
	登録者数	累計	登録者数	累計
前年度末		860		797
4月	7	867	8	805
5月	7	874	4	809
6月	3	877	4	813
7月	10	887	7	820
8月	1	888	4	824
9月	6	894	0	824
10月	4	898	0	824
11月	1	899	2	826
12月	1	900	16	842
1月	2	902	1	843
2月	2	904	7	850
3月	0	904	10	860

イ 交付金

(単位：人、円)

ポイント数	申請者	交付金額
1,000	27	24,000
2,000	42	94,000
3,000	60	132,000
4,000	49	136,000
5,000	183	1,015,000
計	361	1,401,000

(7) プチハンズ

(単位：人)

目的	ボランティアが講師となり、手芸講習会を開催する。	
実施月	参加者数	作品名
4月	21	うさぎのメジャー
5月	26	幸せふくろう
6月	22	なんでもポーチ
7月	13	麦茶のコースター
9月	28	えんぴつケース
10月	9	コースター
12月	35	千支の置物（ねずみ）
1月	18	ひな人形
2月	19	斜め掛けバック
3月	12	同上（二ヶ月連続制作）
合計	203	

11 福祉センター運営事業(総務係)

目的	福祉センター指定管理事業者として、稲城市福祉センター条例に基づき、適正かつ円滑に管理し、市民等に対するサービスの向上に努め、地域福祉の一層の増進を図る。
----	--

(1) 施設貸出し内容

開館日	年間（ただし、祝日、年末年始を除く）
開館時間	8時30分～17時
貸出時間	8時30分～22時（17時以降は特定団体のみ）
利用できる団体	・ 障害者及びその家族、並びにそれらを構成員とする団体
	・ 施設管理者に登録してあるボランティア及びその団体
	・ 福祉・保健・医療関係団体
	・ その他、施設管理者が使用することを適当と認めた団体
利用できる部屋	第1介護予防教室、第2介護予防教室、第1会議室、第2会議室

(2) 団体別利用状況

(単位：件、人)

月	区分	社協	手話講習会	障害者団体	ボランティア団体	福祉関係団体	市役所	高齢者団体	ふれあいセンター	その他	計
4	利用件数	56	0	10	15	5	1	9	0	0	96
	利用者数	422	0	121	185	51	30	86	0	0	895
5	利用件数	54	16	13	13	8	0	9	0	0	113
	利用者数	379	212	184	170	114	0	83	0	0	1,142
6	利用件数	68	23	12	14	10	1	9	0	0	137
	利用者数	474	189	93	161	132	9	83	0	0	1,141
7	利用件数	81	24	9	10	10	0	10	2	0	146
	利用者数	582	183	97	138	131	0	106	51	0	1,288
8	利用件数	73	16	12	8	5	0	7	0	0	121
	利用者数	484	111	162	98	42	0	72	0	0	969
9	利用件数	71	23	10	9	5	0	7	1	0	126
	利用者数	467	149	124	155	50	0	77	16	0	1,038
10	利用件数	64	23	6	11	2	0	8	1	0	115
	利用者数	445	151	88	164	18	0	80	37	0	983
11	利用件数	50	15	6	9	4	0	4	0	0	88
	利用者数	340	94	78	119	31	0	46	0	0	708
12	利用件数	60	7	10	14	3	3	6	1	0	104
	利用者数	425	46	110	184	29	58	67	77	0	996
1	利用件数	65	24	13	11	0	4	9	0	0	126
	利用者数	559	161	172	122	0	79	116	0	0	1,209
2	利用件数	63	23	13	13	4	3	7	1	0	127
	利用者数	480	151	105	161	36	64	72	25	0	1,094
3	利用件数	62	8	4	10	3	2	4	0	0	93
	利用者数	401	51	32	65	29	13	47	0	0	638
計	利用件数	767	202	118	137	59	14	89	6	0	1,392
	利用者数	5,458	1,498	1,366	1,722	663	253	935	206	0	12,101

(3) 管理業務実施状況（修繕）

修繕箇所	修繕理由
非常用照明器具修繕	経年劣化による非常用照明器具及び蓄電池の交換
介護予防教室水栓修繕	水漏れ
介護予防教室ブラインド修繕	開閉動作不具合
空調機エアハンドリングユニット修繕	経年劣化によるファンモータベアリング交換
空調機チラーユニット修繕	経年劣化による高圧圧力計交換
介護予防教室等照明器具修繕	経年劣化による照明器具交換

(4) 利用団体懇談会

内容	意見交換等
実施日	12月13日
参加団体	9団体11人
会場	福祉センター

12 生活介護・就労継続支援事業(通所事業係)

項 目		目 的			
生活介護		介護を必要とする方に、排泄や食事等の介助を行うとともに、創作活動の機会を提供する。			
就労継続支援		一般企業等での就労が困難な方に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のための支援をする。			
所在地	通所訓練室	百村7 福祉センター内			
	梨の郷				
	エイトピア工房	平尾1-9-1 複合施設ふれんど平尾内			
	喫茶陽だまり	向陽台6-7 城山文化センター内			
事業開始	通所訓練室	昭和57年11月			
	梨の郷	平成23年4月			
	エイトピア工房	平成16年10月			
	喫茶陽だまり	平成9年4月			
開所日時	通所訓練室	月曜日～金曜日 10時～15時			
	梨の郷				
	エイトピア工房	月曜日～金曜日 9時30分～16時			
開所日時	喫茶陽だまり	月曜日～日曜日 9時30分～16時30分 (第1、3、5月曜日閉所) 営業時間 10時～16時			
在籍者数 出席率	施 設 名	令和元年度末		平成30年度末	
		在籍者(人)	出席率(%)	在籍者(人)	出席率(%)
	通所訓練室・梨の郷	20	73.5	19	73.3
	エイトピア工房	34	79.8	33	76.6
	喫茶陽だまり	4	69.7	4	62.6
	計・平均	58	74.3	56	70.8
主な作業 (活動)	通所訓練室	生活訓練、機能訓練、音楽療法等			
	梨の郷	音楽活動、運動、余暇活動等			
	エイトピア工房	パウンドケーキ・クッキー等の製造、下請け作業、乾燥野菜等作り、農作業等			
	喫茶陽だまり	喫茶業務			

作業収入 (就労継続支援)	区 分		令和元年度 (円)	平成30年度 (円)
	製パン製菓		4,657,633	4,788,994
	自主製品		417,126	497,430
	下請作業		819,979	883,026
	喫茶店		2,619,000	2,639,560
	計		8,513,738	8,809,010
利用者工賃 (就労継続支援)	区 分		令和元年度 (円)	平成30年度 (円)
	工賃総額		4,524,990	4,309,700
	平均工賃/月		10,307	9,416
外出事業	6月	【就労継続支援事業】社会見学－生命の星地球博物館		
	9月	【就労継続支援事業】スポーツのつどい		
	10月	【生活介護】社会見学－海ほたる		
	12月	【就労継続支援事業】クリスマスチャリティーコンサート		
	1月	【就労継続支援事業】初詣 杉山神社		
	3月	【就労継続支援事業】社会見学－三菱みなとみらい美術館(中止)		
出店事業	4月	梨・桜の花祭り		
	4月	ワルツの杜まつり		
	6月	つながりパーク出店		
	6月	鼓遊チャリティーコンサート		
	10月	いなぎ市民祭		
	11月	坂浜教育講座販売		
	11月	ふれんど平尾祭り		
	11月	歳末バザー出店		
	11月	城山文化センター祭り		
	12月	本郷児童館まつり		
	3月	第2文化センター祭り (中止)		
保護者会等	4月	【就労継続支援事業】保護者会		
	3月	【就労継続支援事業】個人面談		
	10月	【生活介護】保護者会		
福祉サービス 第三者評価受審	対象事業	生活介護、就労継続支援事業		
	期間	令和元年10月～令和2年1月		

13 障害者相談支援事業(在宅支援係)

(1) 生活相談

目的	障害者及びその家族の地域における生活を支援し、在宅の障害者の自立及び社会参加の促進を図る。
----	---

ア 障害別支援方法内訳(延べ人数)

(単位：人)

区分	身体	重症心身	知的	精神	発達	高次脳機能	その他	計
訪問	50	7	92	317	86	4	79	635
面接	25	2	56	309	25	6	69	492
同行	18	0	10	117	1	0	14	160
電話	20	2	25	518	13	6	162	746
文書	0	0	0	6	0	0	1	7
ファックス	0	0	0	2	0	0	0	2
メール	0	0	31	38	9	0	0	78
個別支援会議	7	2	10	59	0	0	11	89
関係機関調整	22	5	15	491	32	9	113	687
合計	142	18	239	1,857	166	25	449	2,896

イ 障害別支援内容内訳(延べ人数)

(単位：人)

区分	身体	重症心身	知的	精神	発達	高次脳機能	その他	計
福祉サービスの利用	35	3	24	167	22	2	16	269
社会資源の活用	10	0	5	49	6	0	40	110
権利擁護の案内	0	0	6	12	0	0	0	18
専門機関の紹介	1	1	0	5	0	0	0	7
障害支援区分認定調査	13	6	38	42	30	3	8	140
ケアプランの作成・調整	2	1	0	7	0	0	0	10
その他	52	0	118	1,079	80	11	272	1,612
合計	113	11	191	1,361	138	16	336	2,166

(2) 計画相談支援・障害児相談支援

目的	障害者(児)の地域における自立した生活を支えていくために、本人の抱える課題の解決や、適切なサービス利用に向けてケアマネジメントを行い、本人及び本人を取り巻く状況の変化に応じて、継続して課題の解決や適切なサービス利用を支援する。
契約利用者数	123人

(3) 地域自立支援協議会

目的	障害がある方が地域でよりよく生活することができるよう、地域の障害福祉関係者の連携及び支援体制について関係者が協議を行う。
実施日	第1回 7月30日 委員の委嘱、自立支援協議会概要について他
	第2回 10月29日 地域生活支援拠点について他
	第3回 12月24日 日中支援型グループホーム事業計画の評価他
	第4回 2月27日 報告事項、障害福祉計画について他

(4) 障害を理解する講演会

目的	障害の有無が明確ではなく情報が不足している引きこもりについて、「ひきこもりの理解とその対応」と題して啓発に努めた。		
実施日	第1回	発達障害の理解（学童期編） 9月27日 受講者：40人 ※地域活動支援センターとの共催	
	第2回	発達障害の理解（成人期編） 10月10日 受講者：41人 ※地域活動支援センターとの共催	
	第3回	発達障害の理解（当事者編） 10月17日 受講者：28人 ※地域活動支援センターとの共催	

14 有償家事援助事業（いなぎほっとサービス）（在宅支援係）

目的	高齢者世帯、心身障害者（児）のいる世帯、難病等の病人のいる世帯、緊急に援助を必要とする世帯などを対象に、市民同士の支え合いによる家事援助等を提供する。
----	---

(1) サービス提供状況

区分	令和元年度		平成30年度	
	利用件数	サービス提供時間	利用件数	サービス提供時間
4月	432	527 時間 10 分	337	405 時間 25 分
5月	434	490 時間 55 分	382	461 時間 30 分
6月	408	456 時間 35 分	389	481 時間 25 分
7月	451	489 時間 25 分	384	461 時間 50 分
8月	335	396 時間 55 分	342	416 時間 45 分
9月	417	450 時間 50 分	357	403 時間 20 分
10月	395	437 時間 35 分	407	469 時間 30 分
11月	391	441 時間 25 分	384	452 時間 45 分
12月	399	459 時間 0 分	354	411 時間 35 分
1月	362	415 時間 20 分	351	426 時間 10 分
2月	401	448 時間 15 分	366	450 時間 25 分
3月	297	346 時間 0 分	418	511 時間 25 分
合計	4,722	5,359 時間 25 分	4,471	5,352 時間 5 分

(2) 活動会員研修会

実施日時	令和元年9月10日（金） 午前10時～正午
受講者数	20名
講師	ピュアレディスクリニック 西田初枝氏
内容	お掃除セミナー（収納について）
場所	福祉センター

実施日時	令和2年2月13日（木） 12時45分～16時
受講者数	21名
講師	宮崎美容研究所 宮崎優子氏
内容	交流会 ハンドマッサージ
場所	福祉センター

15 ヘルパーステーション事業(在宅支援係)

(1) 障害者総合支援法に基づくホームヘルプサービス等

目的	障害者総合支援法に基づき、知的、精神、身体障害者へホームヘルプサービス及びガイドヘルプサービスを提供する。
----	---

ア 居宅介護・重度訪問介護

区分	令和元年度		平成30年度	
	利用件数	サービス提供時間	利用件数	サービス提供時間
4月	99	113 時間 30 分	109	115 時間 15 分
5月	100	119 時間 15 分	128	130 時間 30 分
6月	125	120 時間 45 分	114	126 時間 0 分
7月	152	130 時間 45 分	118	137 時間 15 分
8月	102	98 時間 45 分	116	129 時間 45 分
9月	113	106 時間 0 分	116	136 時間 45 分
10月	122	112 時間 45 分	125	138 時間 45 分
11月	127	113 時間 0 分	116	118 時間 0 分
12月	132	113 時間 45 分	97	100 時間 30 分
1月	141	117 時間 45 分	90	95 時間 30 分
2月	140	112 時間 45 分	96	98 時間 25 分
3月	151	124 時間 0 分	98	98 時間 0 分
計	1,504	1,383 時間 0 分	1,323	1,424 時間 40 分

イ 同行援護事業（視覚障害者ガイドヘルパー）

区分	令和元年度		平成30年度	
	利用件数	サービス提供時間	利用件数	サービス提供時間
4月	25	90 時間 0 分	22	69 時間 30 分
5月	25	103 時間 30 分	25	78 時間 0 分
6月	25	77 時間 30 分	23	75 時間 0 分
7月	31	92 時間 0 分	18	76 時間 30 分
8月	24	25 時間 0 分	17	75 時間 30 分
9月	22	30 時間 0 分	18	76 時間 0 分
10月	27	89 時間 0 分	22	75 時間 30 分
11月	26	82 時間 0 分	27	96 時間 0 分
12月	29	101 時間 0 分	21	87 時間 0 分
1月	28	86 時間 0 分	24	83 時間 0 分
2月	25	91 時間 0 分	21	68 時間 0 分
3月	27	82 時間 0 分	25	87 時間 30 分
計	314	949 時間 0 分	263	947 時間 30 分

ウ 移動支援事業（精神障害者・知的障害者ガイドヘルパー）

区分	令和元年度		平成30年度	
	利用件数	サービス提供時間	利用件数	サービス提供時間
4月	58	202 時間 30 分	70	240 時間 0 分
5月	72	217 時間 30 分	73	254 時間 0 分
6月	61	295 時間 30 分	66	226 時間 15 分
7月	64	206 時間 30 分	63	205 時間 30 分
8月	63	213 時間 0 分	61	203 時間 0 分
9月	55	179 時間 30 分	58	205 時間 30 分
10月	57	205 時間 30 分	60	208 時間 30 分
11月	70	245 時間 45 分	58	219 時間 45 分
12月	61	209 時間 0 分	51	186 時間 30 分
1月	61	206 時間 30 分	50	179 時間 0 分
2月	64	217 時間 0 分	50	189 時間 30 分
3月	53	148 時間 30 分	72	254 時間 30 分
計	739	2,546 時間 45 分	732	2,572 時間 0 分

(2) 稲城市生活支援ホームヘルプサービス事業

目的	概ね65歳以上のひとり暮らしや高齢者のみ世帯で、介護保険の要介護認定を受けていない方、または認定の結果を待たれている方を対象にホームヘルパーを派遣し、日常生活に必要な家事等を行うことで自立した生活が継続できるように支援する。
内容	調理・掃除・洗濯・買い物などの家事。週に2時間まで派遣

派遣状況

区分	令和元年度		平成30年度	
	利用件数	派遣時間	利用件数	派遣時間
4月	0	0 時間 分	0	0 時間 0 分
5月	0	0 時間 分	0	0 時間 0 分
6月	0	0 時間 分	0	0 時間 0 分
7月	3	3 時間 分	1	1 時間 0 分
8月	12	12 時間 分	5	5 時間 0 分
9月	12	12 時間 分	4	4 時間 0 分
10月	15	15 時間 分	3	3 時間 0 分
11月	2	2 時間 分	0	0 時間 0 分
12月	0	0 時間 分	0	0 時間 0 分
1月	0	0 時間 分	0	0 時間 0 分
2月	5	5 時間 分	0	0 時間 0 分
3月	3	3 時間 分	0	0 時間 0 分
計	52	52 時間 分	13	13 時間 0 分

(3) 稲城市ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業

目的	日常生活を営むのに支障のあるひとり親家庭に対して、一定の期間ホームヘルパーを派遣し、日常生活に必要なサービスを行う。
内容	保育園等への送迎、子どもの見守り、必要な家事全般

派遣状況

区分	令和元年度		平成30年度	
	利用件数	派遣時間	利用件数	派遣時間
4月	13	36 時間 0 分	11	30 時間 0 分
5月	8	24 時間 0 分	7	20 時間 0 分
6月	8	23 時間 0 分	6	17 時間 0 分
7月	3	9 時間 0 分	6	17 時間 0 分
8月	3	7 時間 0 分	5	14 時間 0 分
9月	4	13 時間 0 分	6	18 時間 0 分
10月	2	8 時間 0 分	6	18 時間 0 分
11月	6	18 時間 0 分	7	20 時間 0 分
12月	4	16 時間 0 分	5	15 時間 0 分
1月	6	22 時間 0 分	6	17 時間 0 分
2月	10	36 時間 0 分	7	18 時間 0 分
3月	9	25 時間 0 分	6	17 時間 0 分
計	76	237 時間 0 分	78	221 時間 0 分

(4) 稲城市育児支援ヘルパー事業

目的	妊産婦や1歳未満（多胎児の場合は2歳未満）の乳児のいる家庭で、体調不良により家事や育児を行うことが困難な家庭に対して、ヘルパーを派遣しサービスを行う。
内容	食事の準備・片付け・買い物・掃除・洗濯などの家事援助。授乳・おむつ交換・沐浴などの育児援助。乳幼児健診・予防接種を受ける際の付き添い援助。乳幼児の兄又は姉の世話。その他育児に必要な援助

派遣状況

区分	令和元年度		平成30年度	
	利用件数	派遣時間	利用件数	派遣時間
4月	15	27 時間 30 分	31	36 時間 30 分
5月	10	15 時間 0 分	33	56 時間 0 分
6月	25	28 時間 30 分	31	46 時間 0 分
7月	15	21 時間 30 分	2	2 時間 30 分
8月	37	45 時間 30 分	5	10 時間 0 分
9月	18	27 時間 30 分	2	3 時間 0 分
10月	35	40 時間 30 分	16	23 時間 30 分
11月	12	32 時間 0 分	28	42 時間 30 分
12月	10	26 時間 0 分	32	43 時間 30 分

1月	23	50 時間 30 分	29	36 時間 30 分
2月	19	19 時間 0 分	48	65 時間 30 分
3月	2	4 時間 0 分	26	27 時間 0 分
計	221	337 時間 30 分	283	392 時間 30 分

(5) 介護予防・日常生活支援総合事業

目的	介護予防・日常生活支援総合事業の第一号訪問事業として、要支援状態にある利用者に適正なサービスを提供すること目的とする。
内容	掃除・洗濯などの家事等日常生活上の支援を行う。

派遣状況

区分	令和元年度		平成30年度	
	利用件数	派遣時間	利用件数	派遣時間
4月	80	106 時間 0 分	85	109 時間 0 分
5月	81	106 時間 0 分	91	127 時間 0 分
6月	84	99 時間 0 分	84	112 時間 0 分
7月	76	97 時間 0 分	89	107 時間 0 分
8月	72	91 時間 0 分	93	108 時間 0 分
9月	75	91 時間 0 分	77	97 時間 0 分
10月	75	91 時間 0 分	95	111 時間 0 分
11月	72	91 時間 0 分	85	107 時間 0 分
12月	65	88 時間 0 分	86	100 時間 0 分
1月	69	91 時間 0 分	80	95 時間 0 分
2月	78	99 時間 0 分	91	104 時間 0 分
3月	70	81 時間 0 分	91	107 時間 0 分
計	897	1,131 時間 0 分	1,047	1,284 時間 0 分

(6) ヘルパー研修

目的	ヘルパー活動者のスキルアップ及び今後のヘルパー派遣事業の質的な向上を図ることを目的とする。
内容	毎年度必要な課題をテーマとして実施する。

第1回

実施日	12月11日
受講者数	6人
講師	東京都視覚障害者生活支援センター 所長 長岡雄一氏
内容	同行援護ヘルパー基礎研修
会場	福祉センター及び近隣商店街

第2回

実施日	8月22日/12月18日
受講者数	21人
講師	稲城消防署 職員
内容	普通救命講習
会場	福祉センター

第3回

実施日	1月22日
受講者数	9人
講師	滝乃川学園 色えんぴつ 斎藤智裕氏
内容	移動支援（障害者の心理）
会場	福祉センター

第4回

実施日	1月30日
受講者数	23人
講師	認知症支援コーディネーター 平野さち氏、別府里央氏
内容	認知症の方への対応について
会場	福祉センター

16 意思疎通支援事業（在宅支援係）

目的	手話通訳者、要約筆記者を派遣することにより聴覚障害者の福祉の増進を図る。
内容	学校関係、受診、講演会、官公署などへ同行して通訳を行う。

(1) 稲城市手話奉仕員派遣状況

区分	令和元年度		平成30年度	
	利用件数	派遣時間	利用件数	派遣時間
4月	19	28 時間 0 分	32	66 時間 0 分
5月	18	33 時間 0 分	20	42 時間 0 分
6月	16	34 時間 0 分	13	23 時間 0 分
7月	21	41 時間 0 分	12	19 時間 0 分
8月	20	49 時間 0 分	15	28 時間 0 分
9月	20	38 時間 0 分	14	31 時間 0 分
10月	31	72 時間 0 分	15	33 時間 0 分
11月	21	41 時間 0 分	17	29 時間 0 分
12月	18	34 時間 0 分	13	24 時間 0 分
1月	16	32 時間 0 分	15	23 時間 0 分
2月	15	30 時間 0 分	14	33 時間 0 分
3月	14	23 時間 0 分	27	49 時間 0 分
計	229	455 時間 0 分	207	400 時間 0 分

(2) 東京都手話通訳、要約筆記派遣状況

区分	令和元年度		平成30年度	
	利用件数	派遣時間	利用件数	派遣時間
4月	0	0 時間 0 分	4	25 時間 0 分
5月	2	10 時間 0 分	0	0 時間 0 分
6月	0	0 時間 0 分	3	8 時間 0 分
7月	2	11 時間 0 分	0	0 時間 0 分
8月	0	0 時間 0 分	1	10 時間 0 分
9月	2	20 時間 0 分	3	38 時間 0 分

10月	1	1 時間 0 分	1	12 時間 0 分
11月	1	1 時間 0 分	0	0 時間 0 分
12月	5	23 時間 0 分	4	49 時間 0 分
1月	6	33 時間 0 分	1	11 時間 0 分
2月	5	14 時間 0 分	1	9 時間 0 分
3月	3	4 時間 0 分	0	0 時間 0 分
計	27	117 時間 0 分	18	162 時間 0 分

17 ファミリー・サポート・センター事業(在宅支援係)

(単位：人)

目的	地域で安心して子育てができるよう市民相互の助け合い活動として、ファミリー・サポート・センターを運営する。			
年度	令和元年度		平成30年度	
活動者数	40		37	
利用者数	131		116	
区分	利用件数	サービス提供時間	利用件数	サービス提供時間
4月	191	251 時間 30 分	258	440 時間 30 分
5月	211	233 時間 30 分	151	207 時間 30 分
6月	216	249 時間 30 分	198	243 時間 0 分
7月	177	195 時間 30 分	140	173 時間 30 分
8月	126	176 時間 30 分	53	69 時間 30 分
9月	178	218 時間 0 分	105	125 時間 0 分
10月	193	217 時間 30 分	157	190 時間 30 分
11月	227	292 時間 0 分	123	158 時間 30 分
12月	155	196 時間 30 分	115	154 時間 30 分
1月	142	176 時間 30 分	122	143 時間 30 分
2月	224	305 時間 0 分	142	194 時間 0 分
3月	183	221 時間 0 分	150	194 時間 30 分
計	2,223	2,733 時間 0 分	1,714	2,294 時間 30 分

(1) 事業説明会

(単位：人)

実施日	会 場	参加者	対象者
7月17日	福祉センター	11	利用会員
7月17日	福祉センター	3	活動会員
12月12日	福祉センター	4	利用会員
12月12日	福祉センター	1	活動会員
2月20日	福祉センター	4	利用会員
合計		23	

(2) 新規活動会員基礎研修

(単位：人)

実施日	会 場	参加者
4月 2日	福祉センター	1
4月19日	福祉センター	2

4月23日	福祉センター	1
5月23日	福祉センター	1
5月29日	福祉センター	1
6月 7日	福祉センター	1
6月26日	福祉センター	2
7月 2日	福祉センター	1
7月23日	福祉センター	1
8月 1日	福祉センター	2
10月28日	福祉センター	1
11月 7日	福祉センター	2
合計		16

(3) 活動会員研修

実施日	7月25日
受講者数	13人
講師	稲城市子ども家庭支援センター 岡田恵美子氏
内容	子どもの遊び
会場	福祉センター

実施日	1月27日
受講者数	33人
講師	公益法人発達協会 常務理事 湯汲栄史氏
内容	子どもの発達障害を知ろう
会場	福祉センター

18 障害者地域活動支援センター(在宅支援係)

目的	障害のある方に創作活動等の機会を提供し、社会との交流及び地域生活支援の促進を図る。また、医療、福祉及び地域の関係機関との連携を強化し、地域で安心して心豊かに暮らせるように日常生活の相談や社会生活力・機能向上のための支援をする。
----	---

(1) 基礎的事業

ア プログラム利用

内容	不規則になりがちな生活のリズムを整えたり、対人関係の向上を図るためのプログラム（昼食会・朗読会・パソコン教室・外出支援・体操・美術等）を実施する。 延べプログラム数 364回
----	--

利用者の障害区分 (単位：人)

区分	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
利用者数	31	0	318	1,007	174	10	3	1,543

イ オープンスペース利用

内容	障害者間の交流のための「たまり場」を提供した。 延べ利用者数 2,182人
----	---------------------------------------

利用者の障害区分 (単位：人)

区分	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
利用者数	28	0	361	1,546	230	21	5	2,191

(2) 機能強化事業

ア 生活相談

利用者の障害区分 (単位：人)

区分	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
利用者数	34	0	291	1,775	234	20	103	2,457

相談者 (単位：人)

区分	本人	家族	その他	合計
利用者数	2,299	134	24	2,457

相談者内訳 (単位：人)

区分	新規利用者	再利用	登録者	合計
利用者数	24	496	1,937	2,457

支援方法 (単位：人)

区分	訪問	来所相談	同行	電話	電子メール	個別ケア	関係機関	FAX
利用者数	204	1,007	63	916	132	4	4	0
	手紙	その他	合計					
	114	13	2,457					

相談内容 (単位：人)

区分	福祉サービス利用	社会資源利用	障害や病気	健康・医療	不安の解消	保育・教育	家族・人間関係	家計・経済
利用者数	210	96	20	153	433	0	69	15
	生活技術	就労	社会参加	余暇活動	権利擁護	センター利用	その他	合計
	110	49	24	34	3	1,177	64	2,457

イ 関係機関との連絡調整

利用者の障害区分 (単位：人)

区分	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
利用者数	6	0	90	600	55	0	134	885

支援方法

(単位：人)

区分	訪問	来所相談	同行	電話	電子メール	個別ケア会議	関係機関	FAX
利用者数	32	60	57	577	3	2	10	1
	手紙	その他	合計					
	121	22	885					

調整内容

(単位：人)

区分	福祉サービス利用	社会資源利用	障害や病気の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族・人間関係	家計・経済
利用者数	230	97	32	178	12		34	38
	生活技術	就労	社会参加	余暇活動	権利擁護	センター利用	その他	合計
	85	14	2	1	4	71	87	885

ウ 訪問件数

実施月	件数	実施月	件数
4月	22	10月	15
5月	16	11月	17
6月	19	12月	14
7月	23	1月	17
8月	18	2月	13
9月	15	3月	15
合計		204	

エ ケースカンファレンス

実施日	内 容
6月7日	障害が疑われる利用者への今後の支援について
6月11日	障害が疑われる利用者への今後の支援について
6月25日	精神障害のある利用者への今後の支援について
8月7日	精神障害のある利用者への今後の支援について
12月17日	精神障害のある利用者への今後の支援について
3月16日	精神障害のある利用者への今後の支援について

オ 精神保健福祉講演会

目的	市民を対象に精神障害に対する知識の普及及び理解促進を図る。
①	「いちから知ろう発達障害のこと（学童期）」※相談支援と合同3連続講座
実施日	9月27日
参加者数	40人
講師	一般社団法人「発達障がいファミリーサポートMable（マーブル）」 代表理事 国沢真弓氏
会場	福祉センター

②	「精神障害とリカバリー ～働くこと～」
実施日	1月31日
参加者数	17人
講師	リカバリーキャラバン隊 中村氏 就労移行支援事業所ハピネスサポーター西府 大久保氏 稲穂会 井上氏
③	「ひきこもりを理解する講演会 孤立するわが子を支える家族の役割 ～家族だからできること～」
実施日	3月4日 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より中止
参加者数	
講師	NPO法人「楽の会リーラ」理事 上田理香氏
会場	福祉センター

カ 関係機関との業務連絡会議

安心・安全連絡会

目的	稲城知的障がい者支援ネットワークが主体となり、市内で知的障害者が安心・安全に生活していけるように、関係機関・団体が月1回集まり、問題について話し合う。
内容	・東京都の補助を受けて稲城市が発行したヘルプカード（障害者の緊急時支援カード）のPR・普及活動 ・知的障害者交流会の企画 ・グループホームの学習会

知的障害者交流会（つながりパークいなぎ）

実施日	場所	参加団体	内容
6月23日	地域振興プラザ	22団体	市内在住の知的障害者、発達障害者と支える人たちとの交流会

グループホーム学習会

実施日	場所	参加者	内容
8月22日 27日	宿川原周辺グループホーム	16名	市内在住の知的障害者、発達障害者と保護者を対象にしたグループホーム学習会

キ とまりぎ（ひきこもりがちな方を対象にしたサロン活動）

（単位：人）

目的	ひきこもりがちな方に活動の機会を提供するために毎月第2火曜日、第4木曜日14時～16時に居場所を提供する。
----	---

年度	令和元年度	平成30年度
場所	矢野口自治会館（4月～6月） 福祉センター（7月～3月）	矢野口自治会館
参加延べ人数	133人	118人
内容	おしゃべり、卓上ゲーム、その他	おしゃべりタイム、卓上ゲーム、おやつ作り、ボッチャ等

19 苦情解決制度(総務係)

目的	社会福祉法第82条（社会福祉事業の経営者による苦情の解決）に基づき、稲城市社会福祉協議会が提供する福祉サービスに関わる利用者からの苦情の解決について、独自の苦情解決方法を有効に活用し、社協が実施する各種在宅福祉サービスの質の向上につないでいくことを目的とする。	
苦情受付 件数	令和元年度	平成30年度
	申し立てなし	申し立てなし

20 高齢者無料職業紹介所(はつらつワーク稲城)

(単位：人)

目的	高齢者の生きがいの増進と収入の確保を図る。無料職業紹介・相談を行い地域社会における自立の促進を図り、地域福祉の推進に寄与する。	
求職・相談内容	令和元年度	平成30年度
新規求職者数	475	456
再来求職者数	562	632
閲覧者数	77	75
紹介件数	358	312
就職者数	86	91
自所受求人件数	760	643

21 市防災倉庫等備品整備点検等事業(地域福祉係)

目的	市内の防災倉庫備品の整備点検や地震自動開錠ボックスの点検チェック等を行う。					
点検件数	内容		令和元年度		平成30年度	
	市内防災倉庫 点検・整備	自主防災倉庫	51 カ所	51 回	51 カ所	51 回
		学校防災倉庫	19 カ所	27 回	19 カ所	20 回
		市防災倉庫	13 カ所	11 回	13 カ所	17 回
		文化センター関係	5 カ所	8 回	5 カ所	5 回
		その他防災倉庫	11 カ所	12 回	11 カ所	11 回
	地域配備消火器点検		377 カ所	73 回	378 カ所	96 回
	災害対策指定井戸調査		49 カ所	49 回	51 カ所	51 回
	地震自動開錠ボックス点検		6 カ所	72 回	6 カ所	72 回
	消防団詰所周囲の清掃及び点検		8 カ所	16 回	8 カ所	33 回

22 稲城市福祉権利擁護センター(あんしん・いなぎ)

目的	高齢者及び障害者等が住み慣れたまちで安心して暮らすことができるよう、既存の福祉サービス等も活用しながら個人の自己選択、決定を尊重する視点から相談事業、福祉サービス利用援助事業、稲城市保健福祉サービス苦情解決委員会の運営等により支援を行う。
----	---

(1) 福祉サービス利用援助事業

地域福祉権利擁護事業相談件数（延べ人数） (単位：人)

区分	高齢	知的	精神	その他	合計
利用者数	1,477	841	1,203	47	3,568

対象拡大相談件数（延べ人数）

区 分	虚 弱	身 体	その他	合 計
利用者数	33	12	0	45

契約件数

区 分	高齢	知的	精神	その他	虚弱	身体	その他	合計
前年度末契約件数	41	19	20	1	1	2	0	84
令和元年度契約件数	10	4	9	0	1	0	1	25
令和元年度解約件数	9	0	2	0	2	0	1	14
累 計	42	23	27	1	0	2	0	95

(2) 相談件数 (単位：人)

区 分	高 齢	知 的	精 神	その他	虚 弱	身 体	その他	合 計
利用者数	47	2	7	17	2	2	0	77

※相談の内訳（複数相談あり）

区 分	成年後 見制度	権 利 侵 害	消費 者 被 害	多 重 債 務	相 続 財 産	苦 情	その他	合 計
件数	30	1	0	0	1	0	49	81

(3) 高齢者・障害者のための法律相談

対象者	相談件数
高齢者	11
障害者	3

(4) 稲城市保健福祉サービス苦情解決委員会

申立件数	0
------	---

23 災害に対する取組み

(1) 台風15号による応援職員派遣（派遣先：千葉県鋸南町災害ボランティアセンター）

期間	10月20日から24日まで
人数	1人

(2) 台風19号による応援職員派遣（派遣先：八王子市災害ボランティアセンター）

期間	10月19日から11月4日まで
人数	延べ14人

(3) 台風19号による佐野市災害支援

期日	①11月16日 ②11月30日
参加者数	① 8人（一般市民1人、市職員1人、職員6人） ②16人（一般市民1人、市職員2人、青年会議所3人、職員10人）

24 地域における公益的な取り組み

経過 内容	社会福祉法の改正に伴い、地域における公益的な取り組みの実施が責務とされたことをうけ、平成31年4月より、「子どもの居場所『くれば』」を東保育会、永明会との共同事業として開始した。 ・毎月第2木曜日：学習の日 ・毎月第4木曜日：学習の日・子ども食堂・交流の場
----------	---

日程	参加者数	ボランティア	日程	参加者数	ボランティア	
		学習支援			学習支援	調理
4月11日	3	4	4月25日	17	6	5
5月9日	3	4	5月23日	14	4	5
6月13日	3	2	6月27日	15	4	5
7月11日	4	0	7月25日	11	3	5
8月8日	3	2	8月22日	12	5	6
9月12日	2	2	9月26日	10	3	8
10月10日	3	2	10月24日	17	7	5
11月14日	1	2	11月25日	12	10	4
12月12日	1	2	12月26日	17	12	5
1月9日	0	2	1月23日	17	7	5
2月13日	1	2	2月27日	20	3	6
3月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		3月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
合計	24	24	合計	162	64	59

25 職員研修

(1) 総務係

(単位：人)

研修内容	受講者数	受講日	主催者
生活福祉資金新任職員研修会	1	4月18日 4月24日 5月8日 5月13日 5月20日	東京都社会福祉協議会
生活福祉資金業務研究会	1	6月18日	東京都社会福祉協議会
地域福祉計画・地域福祉活動計画に関する情報交換会	2	7月2日	東京都社会福祉協議会
安全運転管理者講習	1	7月4日	東京都交通安全協会
関東ブロック・郡市区町村社協職員合同研究協議会	2	7月29日 7月30日	東京都社会福祉協議会
生活福祉資金担当職員 実務研修会	1	7月29日	東京都社会福祉協議会

生活福祉資金 教育支援資金 運用変更説明会	1	9月25日	東京都社会福祉協議会
生活福祉資金業務研究会	1	11月1日	東京都社会福祉協議会
生活福祉資金 業務研究会意見交換会	1	11月15日	東京都社会福祉協議会
人権学習・啓発担当者研修	1	11月12日	東京都教育庁
生活福祉資金業務研究会	1	1月16日	東京都社会福祉協議会
小地域福祉活動サミット	2	1月25日 1月26日	狭山市社会福祉協議会
育成面談研修	1	2月17日	東京都社会福祉協議会

(2) 地域福祉係

(単位：人)

研修内容	受講者数	受講日	主催者
区市町村ボランティア・市民 活動センター新任研修	1	4月25日 5月10日 5月24日 6月29日 9月12日 9月13日	東京都社会福祉協議会
地域福祉コーディネーター養 成研修（基礎編）	1	6月13日	東京都社会福祉協議会
全国福祉教育推進員研修	1	10月22日 10月23日	全国社会福祉協議会
チームリーダー重点テーマ強 化研修	1	1月15日 1月16日	東京都社会福祉協議会

(3) 在宅支援係

(相談支援事業・障害者地域活動支援センター)

(単位：人)

研修内容	受講者数	受講日	主催者
東京都障害支援区分認定調査員 研修	2	5月7日	東京都心身障害者福祉センター
精神保健福祉概論	1	6月6日	東京都福祉保健局
精神科領域の疾病の理解	1	6月13日	東京都立多摩総合精神保健福祉センター

援助者のためのメンタルヘルスサポート講座	1	6月14日	東京都福祉保健局
アウトリーチ支援研修会	1	6月19日	東京都福祉保健局
福祉有償運送制度についての勉強会	1	6月21日	福祉有償運送運営協議会
東京都相談支援従事者初任者研修	1	6月24日 6月25日 6月28日 7月2日 7月30日 7月31日	東京都心身障害者福祉センター
アサーション研修	1	7月12日	東京都立多摩総合精神保健福祉センター
住民参加型たすけあい活動部会コーディネーター学習会	2	7月25日	東京都社会福祉協議会
意思疎通支援事業関係職員向け研修	1	7月26日	東京都福祉保健局
郡市区町村社協職員合同研究協議会	1	7月29日 7月30日	東京都社会福祉協議会
心神喪失者等医療観察法研修	1	8月9日	東京都立多摩総合精神保健福祉センター
管理責任者更新研修及び児童発達支援管理責任者更新研修	2	8月16日	公益財団法人総合健康推進財団
近隣市ファミリー・サポート・センターアドバイザー交流会	2	9月4日	東久留米市社会福祉協議会
強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	2	9月9日 9月10日	東京都福祉保健財団
相談支援従事者現任研修	1	9月4日 9月10日 9月11日	東京都心身障害者福祉センター
子育て援助活動支援事業アドバイザー研修	2	10月10日	東京都福祉保健局
ファミリー・サポート・センター全国アドバイザー講習会・交流会	2	10月18日	女性労働協会
虐待防止研修(基礎編)	1	11月5日	東京都立多摩総合精神保健福祉センター
認知行動療法研修	2	11月8日	東京都立多摩総合精神保健福祉センター

強度行動障害支援者養成研修 (実践研修)	2	12月2日 12月11日	東京都福祉保健財団
東京都精神障害者地域移行促進 事業地域移行関係職員に対する 研修	1	1月24日	多摩在宅支援センター
高次脳機能障害者相談支援研 修会	1	2月5日	東京都心身障害者福祉センター

(4) 稲城市福祉権利擁護センター (あんしん・いなぎ)

(単位：人)

研修内容	受講者数	受講日	主催者
地域福祉権利擁護事業 新任 専門員・業務担当者研修	1	4月22日 4月26日	東京都社会福祉協議会
地域福祉権利擁護事業 専門 員研修	2	6月28日	東京都社会福祉協議会
日常生活自立支援事業「専門 員実践力強化研修会Ⅰ」	1	7月17日 7月18日	全国社会福祉協議会
第1回成年後見制度推進機関 テーマ別研究会	1	8月19日	東京都社会福祉協議会
依存症問題研修(物質依存概 論)	1	10月30日	東京都立多摩総合精神保健福祉センター
認知行動療法研修	1	11月8日	東京都立多摩総合精神保健福祉センター
地域福祉権利擁護事業 新任 生活支援員研修会	2	11月26日	東京都社会福祉協議会
地域福祉権利擁護事業 専門 員フォローアップ研修	1	12月3日	東京都社会福祉協議会
依存症問題研修(ギャンブル 依存)	1	1月24日	東京都立多摩総合精神保健福祉センター
管理職員研修	1	2月6日 2月7日	東京都社会福祉協議会

(5) 高齢者無料職業紹介所 (はつらっワーク稲城)

(単位：人)

研修内容	受講者数	受講日	主催者
アクティブシニア就業支援セ ンター新任職員研修Ⅰ	1	4月12日	東京しごと財団
アクティブシニア就業支援セン ター「高齢者就業情報システム 操作研修」	1	4月23日	東京しごと財団
職業紹介責任者講習	1	6月3日	全国民営職業紹介事業協会
アクティブシニア就業支援セン ター職員実務研修①「マッチン グ相談の基本と演習」	1	7月22日	東京しごと財団

アクティブシニア就業支援センター職員実務研修②	1	9月11日	東京しごと財団
アクティブシニア就業支援センター連絡会議	1	9月20日	東京しごと財団
アクティブシニア就業支援センター職員実務研修③「応募書類の作成の支援方法	1	10月21日	東京しごと財団
アクティブシニア就業支援センター 職員研修④	1	11月18日	東京しごと財団
公正採用選考人権啓発推進員研修	1	12月4日	東京しごと財団
アクティブシニア就業支援センター 職員実務研修⑤	1	12月9日	東京しごと財団
第4回アクティブシニア就業支援センター連絡会議	1	12月16日	東京しごと財団
アクティブシニア就業支援センター職員実務研修⑥	1	1月17日	東京しごと財団
地域福祉フォーラム	2	3月1日	東京都社会福祉協議会

(6) 通所事業係

(単位：人)

研修内容	受講者数	受講日	主催者
東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	1	7月9日 7月10日 7月11日	東京都保健福祉財団
「食品表示法等に係る講習会」及び「栄養成分表示に関わる講習会」	4	9月11日 9月17日	東京都南多摩保健所
相談支援従事者現任研修	1	9月4日 10月3日 10月4日	東京都福祉保健局
事業者向け食品表示法講習会	1	11月13日	東京都福祉保健局
食品衛生実務講習会	3	11月14日	東京都南多摩保健所
東京都サービス管理責任者基礎研修及び児童発達支援管理責任者基礎研修	1	11月9日 12月12日 12月13日	公益財団法人総合健康推進財団
応急手当普及員講習	1	12月4日 12月5日 12月6日	稲城市消防本部

1
2
3
4
5

6
7
8
9
10

